

電源管理
クラウド365



■ 取扱説明書 ■

<代表管理者, 管理者ユーザー編>

明京電機株式会社

はじめに

弊社製品をご利用ありがとうございます。

電源管理クラウド365は弊社サーバーを経由して、複数台のリブーターの稼働状態の監視と電源制御を一元管理することができるソフトウェアです。

- ・グループのアウトレット電源操作
- ・グループの仮想アウトレット電源オン
- ・グループのPoEポート電源操作
- ・グループに含まれない個別のアウトレット電源操作
- ・仮想アウトレットの電源オン
- ・PoE給電ポート状態変更(オン・オフ・リブート)
- ・アウトレット等のスケジュール設定
- ・リブーターのFWのアップデート(管理者のみ実行可能)
- ・リブーターのCPUリセット(管理者のみ実行可能)

【メンテナンス情報】

毎日、午前3時から午前4時まではメンテナンスのためサーバーを停止します。メンテナンス中は電源管理クラウド365からの電源制御はできません。電源管理クラウド365でのスケジュール制御もその時間帯を避けて設定してください。(メンテナンス中の電源制御については、リブーター側のスケジュール機能をご利用ください。)

目次

はじめに	2
目次	3
第1章 セットアップ方法	4
1. 代表管理者設定	5
[1] ログイン	5
[2] 利用規約同意	5
[3] 代表管理者の登録	7
[4] ユーザーの追加	8
2. リブーター登録	12
[1] リブーター側の準備	12
[2] リブーターでの「サーバー連携」設定	17
[3] リブーターのファームウェアアップデート設定	18
[4] リブーターのアクティベート	19
3. アウトレット電源操作	23
第2章 メニュー	24
1. ログイン	25
[1] ログイン	25
[2] 二段階認証を設定している場合	26
[3] パスワードを忘れた場合	27
2. 一般メニュー	28
[1] ダッシュボード	28
[2] 表示アイコン, 操作ボタンについて	30
[3] 監視異常・途絶発生時の表示	32
[4] 各タイルについて	33
[5] アウトレット詳細	37
[6] 電源操作	38
[7] ログ履歴	39
3. 管理メニュー	43
[1] リブーター・アウトレット	43
[2] グループ	66
[3] ユーザー	76
[4] 情報	81
4. ユーザーメニュー	82
[1] パスワード変更	82
[2] 二段階認証	84
[3] 設定方法	84
[4] リカバリーコード	87
[5] 二段階認証の中止	87
[6] ログアウト	88
第3章 通知仕様	89
[1] メールによる通知	90

第1章

セットアップ方法

1. 代表管理者設定

[1] ログイン

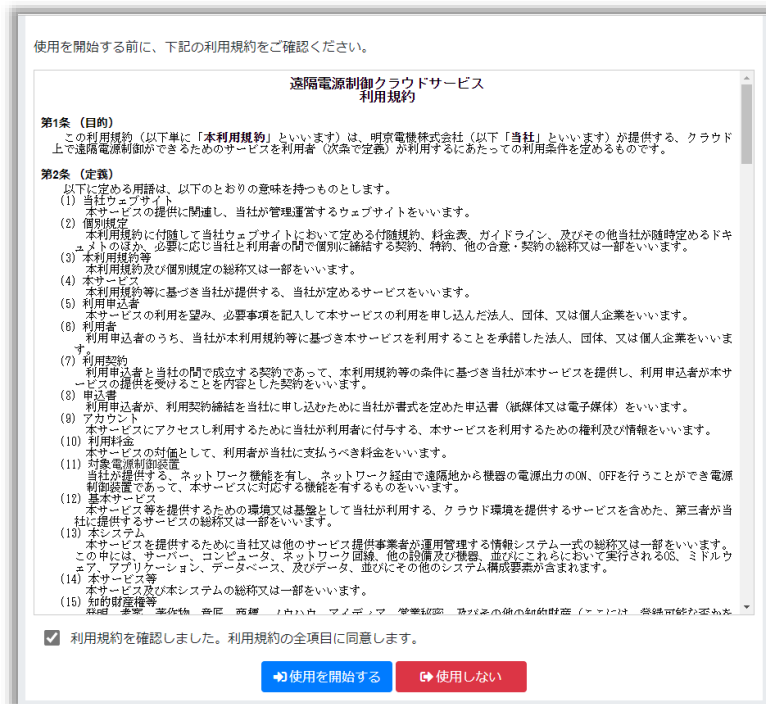
WEBブラウザから、弊社よりご連絡した電源管理クラウド365のページにアクセスします。
ご登録いただいたメールアドレス、弊社より送付した仮パスワードにてログインします。



[2] 利用規約同意

本製品の使用にあたっては、初めに利用規約に同意していただく必要があります。

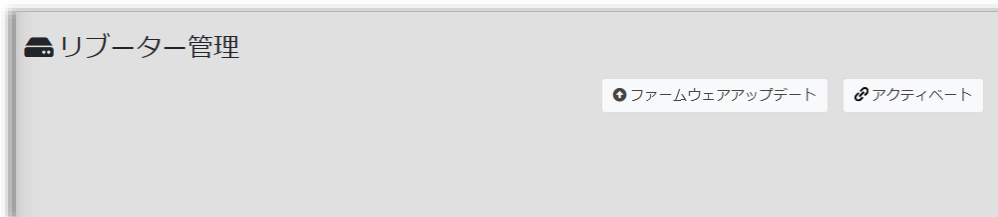
内容を確認の上[利用規約を確認しました。利用規約の全項目に同意します。]をチェックし、
[使用を開始する]をクリックします。



次のメッセージが表示されますので、[閉じる]をクリックしてください。



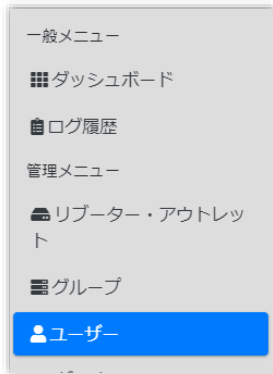
リポーター管理画面が表示されます。



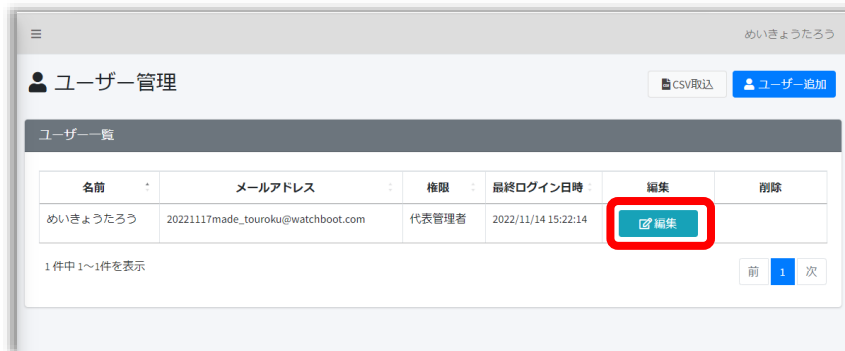
リポーターの登録につきましては、[2.リポーター登録](#) をご覧ください。

[3] 代表管理者の登録

画面左側のメニューで、「管理メニュー」の[ユーザー]をクリックします。



「ユーザー一覧」で、[編集]をクリックします。



パスワードを変更し,[保存]をクリックします。

パスワードに使用できる文字は半角英数字と . / , : + - _ ! ? % * = @ です。



確認のポップアップ画面が表示されますので、[はい]をクリックします。





[4] ユーザーの追加

続けて、ユーザーの追加をすることができます。

(1) ユーザーの追加

画面左上の[ユーザー追加]をクリックします。



- 名前 : 名前を入力します。
- 権限 : 一般 ・ 管理者 から選択します。(デフォルト 一般)
ユーザー権限につきましては、次項をご覧ください。
- メールアドレス : メールアドレスを入力します。
- パスワード : パスワードを半角英数字8桁以上で入力します。
-  クリックでパスワードの表示・非表示を切り替えます。
-  クリックでパスワードを自動生成します。
- 途絶メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- 異常メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- ログイン通知メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- メール通知につきましては第3章[1]メールによる通知をご覧ください。
- 二段階認証 : ユーザーが自身で二段階認証の設定を行うと「解除」のボタンが表示されます。
ユーザー追加時は「未設定」と表示されます。

入力が完了しましたら[保存]をクリックします。

登録を行いましたら、各ユーザーに初期パスワードを伝え、各自パスワード変更を行うよう、ご連絡をお願いいたします。

CSVファイルを使用した複数ユーザーの一括取込も可能です。第2章3.[3](1)〈2〉CSV取込をご覧ください。

<p>注意 メールアドレスがIDとなります。 1つのメールアドレスで、複数IDとすることはできません。</p>

(2) ユーザー権限

ユーザーには「代表管理者」「管理者」「一般」があり、権限が異なります。

	代表管理者	管理者	一般
リブーターのアクティベート	○	○	×
アウトレット登録	○	○	×
グループ登録	○	○	×
スケジュール作成	○	○	×
アウトレット電源操作	○	○	○
Pingリスタート	○	○	×
リブーターのCPUリセット	○	○	×
ログ履歴閲覧	○	○	○
ユーザー追加	○	○	×
ユーザー削除	代表管理者以外可	代表管理者以外可	×
パスワード変更	全員	代表管理者以外可	自分のパスワードのみ
二段階認証の解除	全員	代表管理者以外可	自分の二段階認証のみ

代表管理者は必ず1名必要となります。

初期のユーザー数は5名で、その中であれば、管理者、一般の人数は自由に決定することができます。

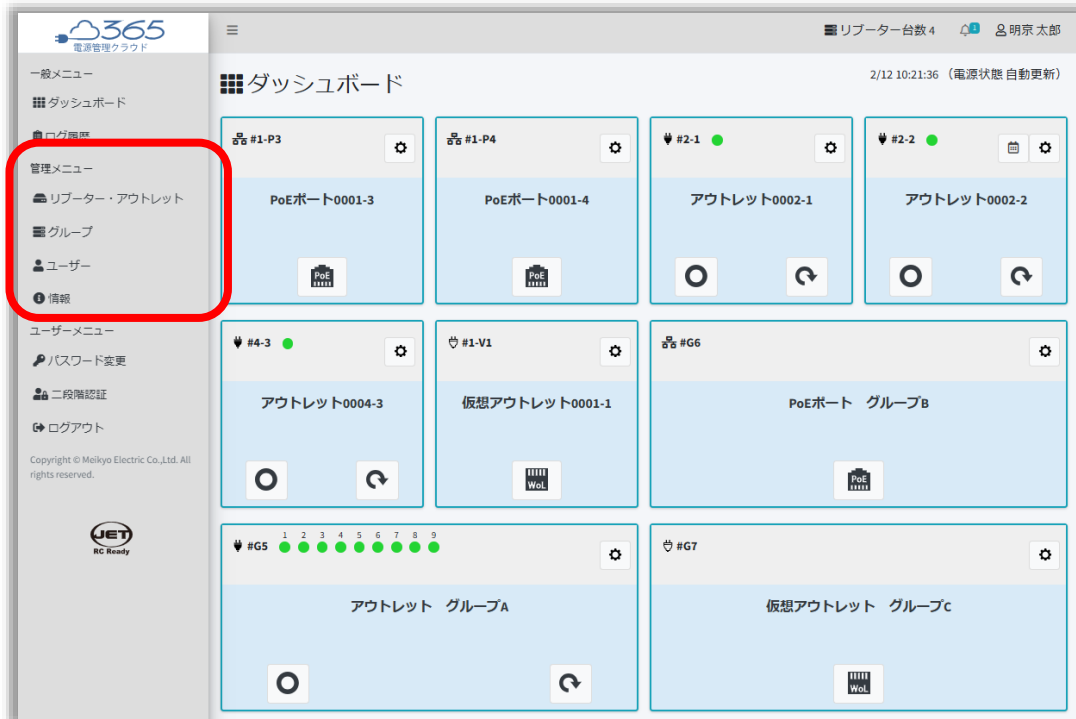
注意 代表管理者を、管理者や一般ユーザーに変更することはできません。
代表管理者の変更や連絡先の変更、契約数の変更を希望される場合は、
弊社までご連絡ください。
(これらの変更に関して、勝手ながら基本的には「月に一度」の対応とさせていただきます。)

ユーザー数を増やしたい場合は弊社までご連絡ください。

(3) 権限の違いによる、画面表示の違い

代表管理者、管理者権限でログインしますと、管理メニューが表示されます。
一般管理メニューでは表示されません。

代表管理者・管理者権限画面



一般権限画面



2. リブーター登録

- 本システムで制御・管理したいリブーターをアクティベートし、登録します。

[1] リブーター側の準備

DIPスイッチの有無により手順が異なります。

(1) リブーターのアクティベート【フロントパネルにDIPスイッチがある機種】

リブーター購入後、まずは使用にあたって初めに使用条件に同意していただく必要があります。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。

WatchBOOT, TIMEBOOTに関してPCがオートMDI/MDI-X非対応の場合は、クロスLANケーブルを使用してください。

1)LANやVPN上に192.168.10.1および192.168.10.2のIPアドレスを持つホストがないことを確認します。

2)設定用PCのIPアドレスとサブネットマスクを以下の通り設定します。

IPアドレス : 192.168.10.2

サブネットマスク : 255.255.255.0

3)本体前面のDIPスイッチ3をオンにします。

(メンテナンスモードになり、IPアドレスが192.168.10.1となります。)

注意 メンテナンスモードの場合、LANの通信速度は10BASE-Tでつながる設定になっている必要があります。

4)本体前面のRESETスイッチを押します。

5)設定用PCのWebブラウザを起動します。

http://192.168.10.1 を指定し、本装置にアクセスします。

注意 ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。
推奨ブラウザは弊社HP「よくある質問」の「ブラウザにはどれを使用すればいいですか?」をご覧ください。

<https://www.meikyo.co.jp/faq/>

6)ブラウザ依存のポップアップ画面が表示されます。

ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。

7)【ご確認のお願い】の画面が表示されます。内容を確認の上[上記の内容に同意します。]をチェックし、[次へ]をクリックします。

ご確認のお願い

以下の文面をお読みになり、同意される場合のみ
遠隔制御機能を有効化できます。

RPC-M4LS

電気用品安全法により、遠隔操作に伴い感電・事故・傷害の発生する危険がある機器の遠隔操作は禁止されています。

したがって、電気用品の中には、遠隔制御により感電、火災及び傷害の生じる可能性があるものがありますので、そのような機器を、本装置のアウトレットに接続してはなりません。

特に、電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは、火災の原因となりますので絶対に接続しないでください。

接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しないでください。

また、通信回線の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも、安全状態が維持されるように、連続運転可能な装置のみを接続してください。接続される機器の安全性に関しては、接続される機器のUSB、PoE給電ポート、接点出力等のアウトレットにも遠隔操作によって危険がないことを

上記の内容に同意します。

8)【メンテナンスモード 機器設定】画面が表示されます。

メンテナンスモード 機器設定

モデル名	RPC-M4LS
バージョン	4.10A.230628
MAC アドレス	00:09:EE:()
IP アドレス	<input type="text" value="192.168. ()"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="192.168. ()"/>
DNS サーバアドレス	<input type="text"/>
DHCP 機能	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
HTTP 機能	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
HTTP ポート	<input type="text" value="80"/>
Telnet 機能	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
Telnet ポート	<input type="text" value="23"/>
通信速度	自動接続 ▼
IP フィルター	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
子機グループ	Disabled ▼
親機MACアドレス	<input type="text" value="00:00:00:00:00:00"/>

9)インターネットにアクセスできる、適切なネットワーク設定をします。

●ご利用になるLANに適切なIPアドレスとして

・運用時にIPアドレスを固定にして利用する場合、「DHCP機能」を[無効]にチェックしたままで、「IPアドレス」に適切なIPアドレスを入力します。

・DHCPを使用して動的にIPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP機能」を[有効]にチェックして、

[適用]をクリックします。

- 「デフォルトゲートウェイ」を設定して、外部のネットワークに接続できるようにします。
(「DNSサーバーアドレス」は空欄の場合、デフォルトゲートウェイと同じ設定が適用されます。)

10)その他「Telnet機能」など必要に応じて設定を行います。設定が終了しましたら、[適用]をクリックします。

11)本体前面のDIPスイッチ3をオフにします。(運用モードにします。)

12)本体前面のRESETスイッチを押します。

13)Webブラウザーを閉じます。

14)設定用PCのIPアドレスを元に戻します。

注意 設定後は、必ず[適用]をクリックし、RESETスイッチを押してください。
RESETスイッチを押さないと設定が反映されません。

(2) リブーターのアクティベート【フロントパネルにDIPスイッチがない機種】

リブーター購入後、まずは使用にあたって初めに使用条件に同意していただく必要があります。

設定用PCと本装置とは、LAN用コネクタにLANケーブルで接続します。

クロス、ストレートはリブーター側で自動認識されます。

1)LANやVPN上に192.168.10.1および192.168.10.2のIPアドレスを持つホストがないことを確認します。

2)設定用PCのIPアドレスとサブネットマスクを以下の通り設定します。

IPアドレス : 192.168.10.2

サブネットマスク : 255.255.255.0

3)設定用PCのWebブラウザーを起動します。

<http://192.168.10.1> を指定し、本装置にアクセスします。

注意 ブラウザーはJavaScriptとフレームに対応している必要があります。
推奨ブラウザーは弊社HP「よくある質問」の「ブラウザーにはどれを使用すればいいですか?」をご覧ください。

<https://www.meikyo.co.jp/faq/>

4)ブラウザー依存のポップアップ画面が表示されます。

ユーザー名(デフォルト:admin)とパスワード(デフォルト:magic)を入力します。

- 5)【ご確認のお願い】の画面が表示されます。内容を確認の上[上記の内容に同意します。]をチェックし, [次へ]をクリックします。

ご確認のお願い

以下の文面をお読みになり, 同意される場合のみ
遠隔制御機能を有効化できます。

RPC-5NCSI

電気用品安全法により, 遠隔操作に伴い感電・事故・傷害の発生する危険がある機器の遠隔操作は禁じられています。

したがって, 電気用品の中には, 遠隔制御により感電, 火災及び傷害の生じる可能性があるものがありますので, そのような機器を, 本装置のアウトレットに接続してはなりません。

特に, 電気ストーブや電熱器など熱を発生するものは, 火災の原因となりますので絶対に接続しないでください。

接続機器が突然動作した時に接続された機器の近傍にいる人が危険になるような機器を接続しないでください。

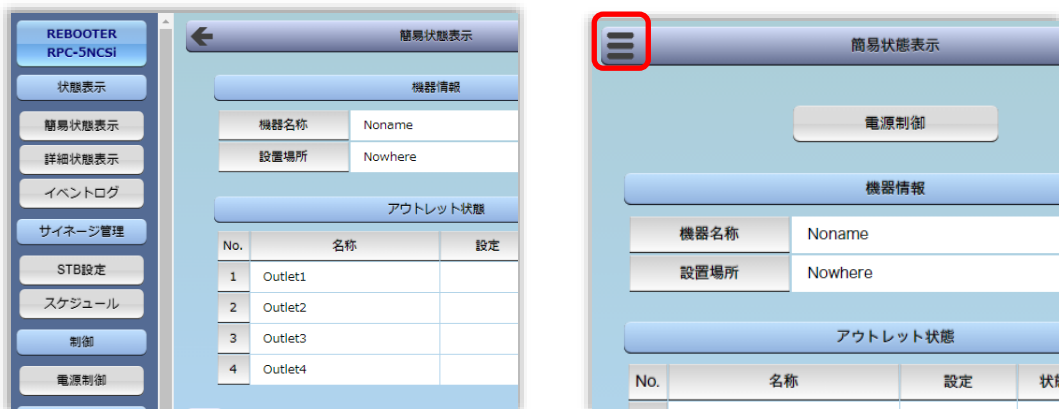
また, 通信回線の故障などにより遠隔制御が行えなくなった場合でも, 安全状態が維持されるように, 遠隔運転可能な装置のみを接続してください。接続される機器の安全性に関しては, 接続される機器のUSB, PoE給電ポート, 接点出力等のアウトレットにも遠隔操作によって危険がないことを

上記の内容に同意します。

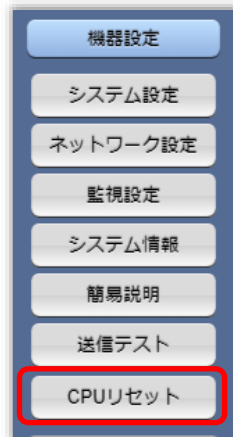
次へ

注意 【ご確認のお願い】は本装置初回起動時に表示されます。
(初期化を実施した場合は, 初回起動時にも表示されます。)

- 6)簡易状態表示画面が表示されます。
メインメニューは画面左側に表示されます。
メインメニューが常時表示されない機種は,左上のアイコンをクリックで表示することができます。



- 7)メインメニューの**CPUリセット**をクリックし、**CPUリセット**を実行してください。
(または本体前面の「RESETスイッチ」を押してください。)



- 8)再びログインし、メインメニューの「ネットワーク設定」にて**インターネットにアクセスできる、適切なネットワーク設定**をします。

- ご利用になるLANに適切なIPアドレスとして
 - ・運用時にIPアドレスを固定にして利用する場合、「DHCP機能」を[無効]にチェックしたままで、「IPアドレス」に適切なIPアドレスを入力します。
 - ・DHCPを使用して動的にIPアドレスを割り当てる場合は、「DHCP機能」を[有効]にチェックして、「適用」をクリックします。
- 「デフォルトゲートウェイ」を設定して、外部のネットワークに接続できるようにします。
(「DNSサーバーアドレス」は空欄の場合、デフォルトゲートウェイと同じ設定が適用されます。)

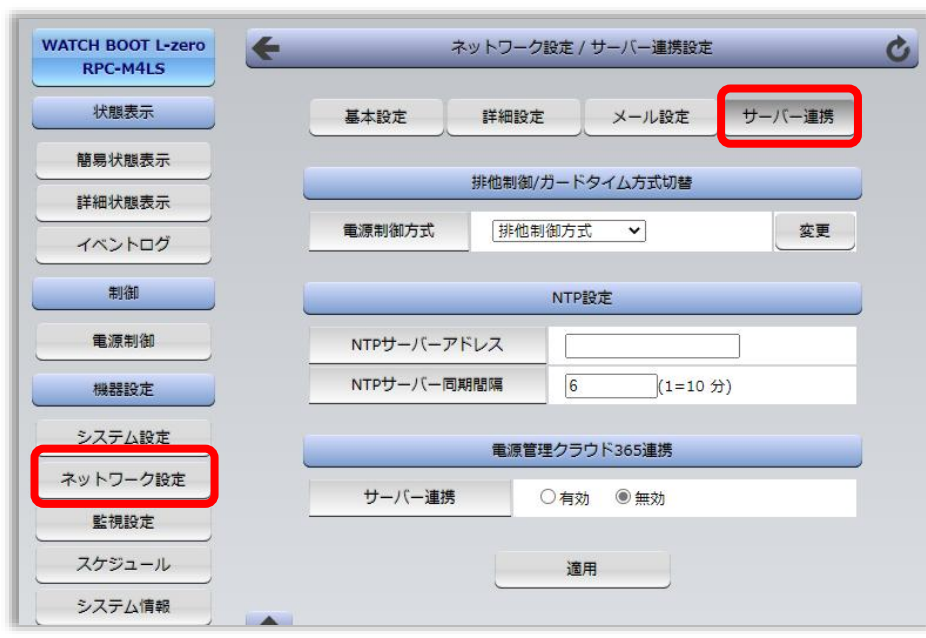
注意 「ネットワーク設定」を変更した後は「CPUリセット」を実行してください。
リセット後、変更が反映されます。

- 9)設定用PCのIPアドレスを変更した場合は、元のIPアドレスに戻します。

[2] リブーターでの「サーバー連携」設定

(1) WEBブラウザからの設定

WEBブラウザから、リブーターに設定したIPアドレスにアクセスし、
[ネットワーク設定]-[サーバー連携]をクリックします。



注意 DHCP機能を有効にした場合は、自動でリブーターに割り当てられたIPアドレスを検索して入力してください。

リブーターの検索には、弊社ホームページにて公開しておりますRPCサーチソフトが便利です。

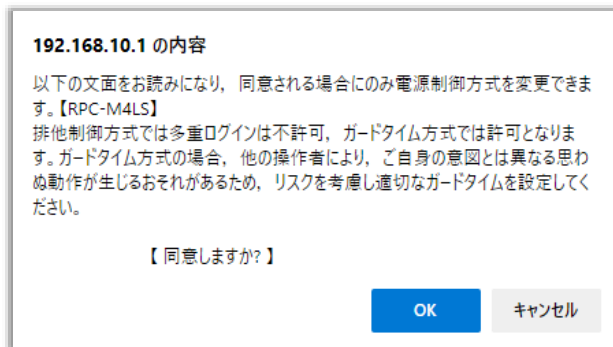
<https://www.meikyo.co.jp/archive/#rpcsearch>

〈1〉 排他制御/ガードタイム方式切替

「電源制御方式」にて[ガードタイム方式]を選択し、[変更]ボタンをクリックします。

すると、次の警告文が表示されます。警告の内容をよくご確認の上、同意される場合のみ[OK]を押してください。

(電源管理クラウド365使用にあたっては[ガードタイム方式]選択必須です。)



その後、「ON/REBOOT後, ガードタイム(秒)」「OFF後, ガードタイム(秒)」の設定項目が現れます。ふさわしい数値を設定してください。(デフォルト:10秒。最小1秒を設定可能)(CPUリセットが促されますが、そのまま〈2〉, 〈3〉の設定を行って構いません)

〈2〉 NTP設定

時刻同期ができるよう、「NTPサーバーアドレス」と「NTPサーバー同期間隔」を設定してください。電源管理クラウド365を使用する際は、NTPサーバーによる時刻同期が必須となります。

〈3〉 電源管理クラウド365連携

「サーバー連携」を[有効]にします。

[適用]をクリック後、CPUリセットを行います。「CPUリセット」ページに遷移し、CPUリセットを実行してください。

次項にて、リブーターの機器情報を設定しますので、WEB画面は開いたままにしておいてください。

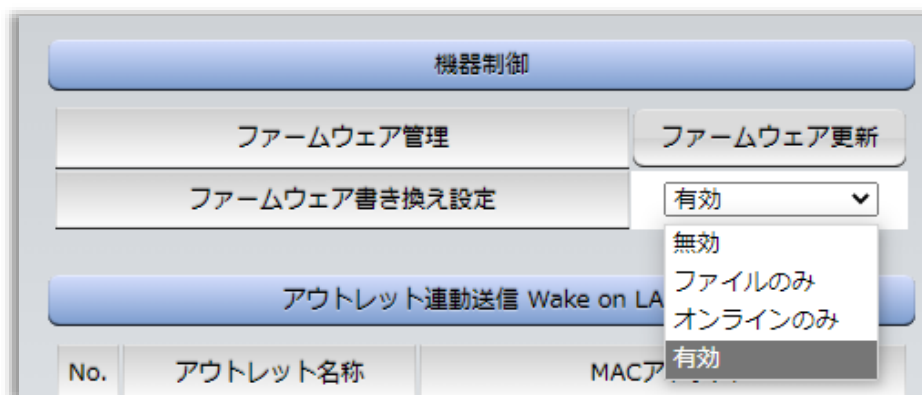
[3] リブーターのファームウェアアップデート設定

電源管理クラウド365は、アクティベート済みリブーターのファームウェアをオンラインアップデートする機能があります。

この機能を使用する場合は、事前にリブーター側の設定が必要です。

[システム設定]-[詳細設定]-[機器制御]の「ファームウェア書き換え設定」を[有効]または[オンラインのみ]に設定してください。

「ファームウェア書き換え設定」のデフォルト値は「有効」です。

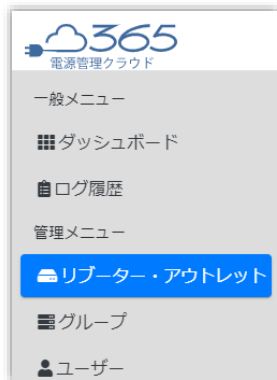


「ファームウェア書き換え設定」を、「オンラインのみ」または「有効」にして[適用]をクリックします。

[4] リブーターのアクティベート

アクティベートできるリブーター数は契約によって決定されます。

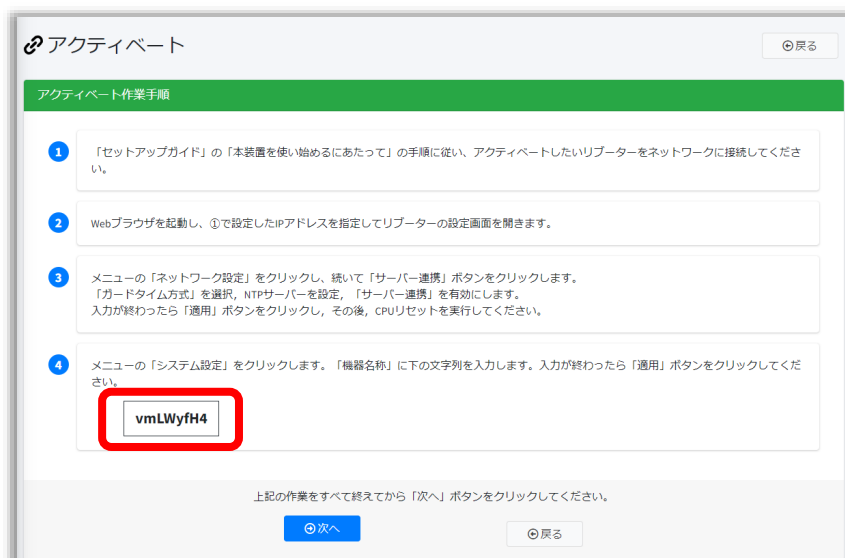
電源管理クラウド365にログインし、サイドバーの[リブーター・アウトレット]をクリックします。



右上の「アクティベート」を選択します。



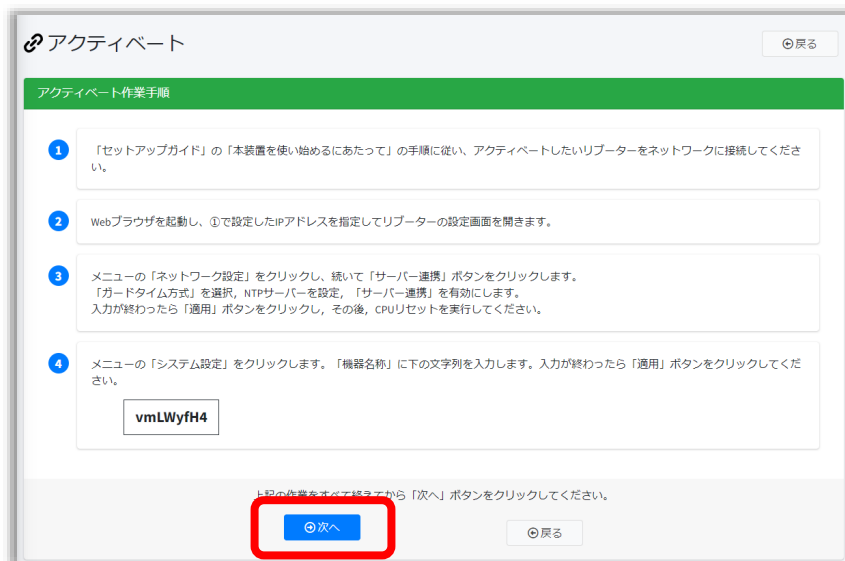
表示された画面にて、④に表示されている半角英数8文字をコピーします。



開いていたリブーターのWEB画面に戻り、[システム設定]をクリックして「基本設定」を開きます。「機器名称」にコピーした文字列をペーストして入力し、[適用]をクリックします。



電源管理クラウド365に戻り、[次へ]をクリックします。





何秒かで「アクティベート完了」画面に変わります。



[次へ]をクリックすると、登録したリポーターの設定画面となります。



この画面では、リブーターの名称変更、使用切り替え、CPUリセット、Pingリスタート、画像リンクの追加、メモを入力することができます。

使用切り替えはデフォルトで「許可」となっています。

詳細につきましては第2章3.[1](2)リブーター登録をご覧ください。

機種やファームウェアバージョンにより、表示される内容が異なります。

編集後、[保存]をクリックすると確認画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。



「保存しました」のメッセージが表示されます。メッセージを閉じたのちに「戻る」をクリックしてください。リブーター管理画面が開きますので、続けて契約台数分のリブーターのアクティベートを行うことができます。



アクティベート完了後、リブーターの「機器名称」を変更できます。

(アクティベート時に指定された機器名称は、その後は使用しません。)

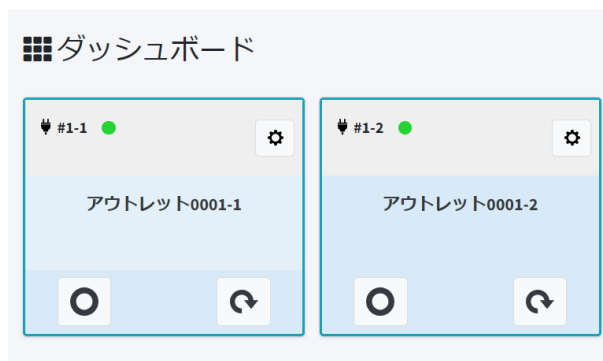
「アクティベート失敗」と表示された場合は通信状況とリブーターの設定を確認して、再度アクティベートを行ってください。

3. アウトレット電源操作

アウトレット電源操作を行うには、メニューの[ダッシュボード]をクリックします。アクティベートしたリブーターのアウトレット電源操作タイルが表示されます。

メニューは左上の3本線をクリック、または左側のアイコンにカーソルを置くことで表示されます。

アウトレットがオンの場合は、オフボタンとリブートボタンが表示されます。



アウトレットがオフの場合は、オンボタンとリブートボタンが表示されます。



オン、オフ、リブートボタンのクリックで、リブーターの電源制御が可能です。

操作後、リブーターがコマンドを受信し、電源制御が実行されます。

(リブーター側で「オフ遅延」などが設定されている場合、その遅延時間後に実行されます。

遅延時間に関してはリブーターのメニュー[システム設定]-「基本設定」-「アウトレット設定」から設定を行ってください。)

リブーターの各アウトレットは、デフォルトで使用切り替えが「許可」となっていますが、仮想アウトレットや、PoEポートはデフォルトで「不可」となっており、初期状態では電源管理クラウド365からの操作を行うことができません。操作を行うためには、個別に使用切り替えを「許可」に変更する必要があります。使用切り替えを行う方法につきましては、第2章3. 1<1>1) アウトレット登録をご覧ください。

別々に表示されたアウトレット等をグループ化して、一括で操作を行うことが可能です。グループの作成方法につきましては第2章3. [2]グループをご覧ください。

第2章

メニュー

1. ログイン

[1] ログイン

WEBブラウザから、弊社よりご連絡した電源管理クラウド365ページにアクセスし、IDとして登録済みのメールアドレスとパスワードを入力します。



ログインすると、ダッシュボード画面が表示されます。
右上にアクティベート済みのリポーターの台数とログインしているユーザーの名前が表示されます。



(1) 利用規約同意

各ユーザーの初回ログイン時は、利用規約同意の画面が表示されます。

本製品の使用にあたっては、初めに利用規約に同意していただく必要があります。

内容を確認の上[利用規約を確認しました。利用規約の全項目に同意します。]をチェックし、[使用を開始する]をクリックします。

使用を開始する前に、下記の利用規約をご確認ください。

**遠隔電源制御クラウドサービス
利用規約**

第1条 (目的)
この利用規約（以下単に「**本利用規約**」といいます）は、明京電機株式会社（以下「**当社**」
といいます）が提供する、クラウド上で遠隔電源制御ができるためのサービスを利用者（**次条**
で定義）が利用するにあたっての利用条件を定めるものです。

第2条 (定義)
以下に定める用語は、以下のとおりの意味を持つものとします。

(1) **当社ウェブサイト**
本サービスの提供に関連し、当社が管理運営するウェブサイトをいいます。

(2) **個別規定**
本利用規約に付随して当社ウェブサイトにおいて定める付随規約、料金表、ガイドライ
ン、及びその他当社が随時定めるドキュメントのほか、必要に応じ当社と利用者間で個別
に締結する契約、特約、他の合意・契約の総称又は一部をいいます。

(3) **本利用規約等**
本利用規約及び個別規定の総称又は一部をいいます。

(4) **本サービス**
本利用規約等に基づき当社が提供する、当社が定めるサービスをいいます。

(5) **利用申込者**
本サービスの利用を望み、必要事項を記入して本サービスの利用を申し込んだ法人、団
体、又は個人企業をいいます。

(6) **利用者**
利用申込者のうち、当社が本利用規約等に基づき本サービスを利用することを承諾した
法人、団体、又は個人企業をいいます。

(7) **利用契約**
利用申込者と当社の間で成立する契約であって、本利用規約等の条件に基づき当社が本
サービスを提供し、利用申込者が本サービスの提供を受けることを内容とした契約をい
います。

利用規約を確認しました。利用規約の全項目に同意します。

[2] 二段階認証を設定している場合

二段階認証を設定している場合は、以下の画面が表示されますので、認証システムに表示されている確認コードを入力します。（二段階認証の設定につきましては、第2章4.[2]二段階認証をご覧ください。）

**365
電源管理クラウド**

二段階認証

確認コードを入力してください。

確認コード

[3] パスワードを忘れた場合

パスワードを忘れた場合は、[パスワードを忘れた]をクリックします。
表示された画面に、IDとして登録済みのメールアドレスを入力し、[パスワード再設定リンクを送信]をクリックします。



The screenshot shows the 'パスワードを再設定する' (Reset Password) page. At the top is the '電源管理クラウド 365' logo. Below the title is a text input field labeled 'メールアドレス' (Email Address) with an envelope icon. At the bottom is a blue button with a right-pointing arrow and the text 'パスワード再設定リンクを送信' (Send Password Reset Link).



This screenshot is identical to the previous one but includes a green success message box in the center. The message reads: 'パスワード再設定リンクをメールで送信しました。' (Password reset link sent via email).

送信されたメールを開き、IDとして登録済みのメールアドレス、新しく設定するパスワードを入力し、[パスワードを再設定する]ボタンをクリックしてください。



The screenshot shows the 'パスワードを再設定する' (Reset Password) page with three input fields. The first is 'メールアドレス' (Email Address) with an envelope icon. The second is 'パスワード' (Password) with a lock icon. The third is 'もう一度入力' (Enter again) with a lock icon. At the bottom is a blue button with a circular arrow icon and the text 'パスワードを再設定する' (Reset Password).

2. 一般メニュー

左上の3本線をクリックすると、左側にメニュー画面が開きます。



[1] ダッシュボード

(1) 表示

ダッシュボードには、以下のタイルが表示されます。

- ①アウトレット
- ②仮想アウトレット
- ③PoEポート
- ④グループ



①については、リポーターをアクティベートすると表示されますが、②③についてはアウトレット登録にて

使用切り替えを許可にすると表示されます。(3.1<1> 1)アウトレット登録参照)
④については、グループを作成すると表示されます。(3.[2]グループ参照)

- 表示順は数字→アルファベット→五十音順になります。「異常」または「途絶」状態になると、それらは先頭に表示されます。

表示されたタイルから以下の操作ができます。

- ・アウトレットの電源操作
- ・仮想アウトレットの電源オン
- ・PoE給電ポート状態変更(オン・オフ・リブート)
- ・グループのアウトレット電源操作
- ・グループの仮想アウトレット電源オン
- ・グループのPoEポート電源操作

また、タイルの中心部分をクリックすることで、アウトレットの詳細や、グループについてはグループに含まれた個別のアウトレットの操作や詳細を確認することができます。(本項[5]アウトレット詳細参照)

注意 グループに使用切り替え「不可」に設定されたリブーターが含まれている場合、手動でグループ全体の電源操作を行うことはできません。電源類のボタンクリックで「使用不可設定のリブーターがあります」と表示されます。
なお、グループに含まれている個別アウトレットの手動操作は可能です。
また、グループへ設定されたサーバーから許可されたスケジュールは使用許可されたリブーターのみ実行されます。

[2] 表示アイコン, 操作ボタンについて

表示アイコン	内容	詳細
	アウトレット	リブーターのアウトレットを示します。
	仮想アウトレット	リブーターにて設定されている仮想アウトレットを示します。 (「仮想アウトレット」はその番号に登録されているMACアドレスに対してWoLを送出する機能です。)
	PoEポート	リブーターにて設定されているPoE給電ポートを示します。 (一部機種のみ対応)
	電源オン	リブーターのアウトレットがオンの場合に表示されます。 操作から反映されるまで数秒かかります。
	電源オフ	リブーターのアウトレットがオフの場合に表示されます。 操作から反映されるまで数秒かかります。
	途絶	リブーターとサーバーの通信が行われていない場合に表示されます。
	警告	リブーターに通信の途絶や監視異常が発生した際に表示されます。アウトレット詳細またはアウトレット登録を開くと消えます。
	途絶	リブーターとサーバーの通信が行われていない場合に表示されます。
	監視異常	リブーターに監視異常が発生している場合に表示されます。
	お知らせ	クリックでメッセージが開きます。 お知らせがある場合のみ表示されます。

操作ボタン	内容	詳細
	電源オンボタン	電源をオンにする場合にクリックします。
	電源オフボタン	電源をオフにする場合にクリックします。
	リブートボタン	電源を再起動する場合にクリックします。
	仮想アウトレットオンボタン	仮想アウトレットをオンにする場合にクリックします。
	PoEポート操作表示ボタン	クリックすると、PoEポートの電源操作ボタンが表示されます。
	スケジュールボタン	スケジュールが設定されたタイルに表示されます。設定を行う際にクリックします。一般ユーザーは設定されたスケジュールの参照のみ可能です。
	設定ボタン	設定を行う際にクリックします。一般ユーザーは表示されない、または「権限がありません」と表示されます。
	アウトレット設定ボタン	アウトレット管理画面を開く際にクリックします。一般ユーザーは表示されません。

[3] 監視異常・途絶発生時の表示

リブーターに監視異常が発生した場合は赤(「異常」)、リブーターの電源が入っていない場合や、通信ができない場合は黄(「途絶」)で表示され、あわせて異常や途絶が発生しているアウトレット数と異常・途絶ログが表示されます。(「異常」「途絶」のタイルがない場合(全て正常時)は、この異常・途絶数表示や異常・途絶ログは表示されません。)

また、監視異常や途絶が発生しているタイルは先頭に移動します。(監視異常と途絶では、監視異常が優先されます)

監視異常や途絶が解消した場合は、通常表示に戻ります。



なお、グループに含まれているアウトレットに途絶と異常が両方発生している場合、タイル表示は異常が優先となり、赤で表示されます。

監視異常時、ログには「異常発生 異常状態コードx」と表示されます。

xの部分の数字によって、どの監視での異常かを判別できます。

- 101→Ping監視
- 102→メール受信サーバー監視
- 103→Port監視
- 104→ハートビート監視
- 105→温度監視

注意 仕様上、異常や途絶が発生した場合、または解消した場合は、電源管理クラウド365への反映までに、1分以内のタイムラグが発生します。

[4] 各タイルについて

(1) 個別のアウトレット



電源オンまたはオフ、リブートボタンをクリックすると、電源制御を行うことができます。
リブーターをアクティベートするとデフォルトで表示されます。
中心部分(アウトレット名称が書かれている部分)をクリックすると、アウトレット詳細が表示されます。
詳細につきましては[5]アウトレット詳細をご覧ください。
右上の歯車マークでアウトレット登録メニューが開きます。
詳細につきましては3.1 アウトレット登録をご覧ください。

(2) 個別の仮想アウトレット



WoLボタンをクリックすると、リブーターに設定済みのマジックパケットを送信し、Wake on LAN対応の機器を起動することができます。
中心部分(仮想アウトレット名称が書かれている部分)をクリックすると、アウトレット詳細が表示されます。詳細につきましては[5]アウトレット詳細をご覧ください。
デフォルトではダッシュボードに表示されません。
「管理メニュー」-「リブーター・アウトレット」-「リブーター管理」のコンセントアイコンをクリックし、「アウトレット管理」の歯車アイコンをクリックした後「使用切り替え」を「許可」にし[保存]をクリックしてください。
詳細につきましては 3.[1](2)リブーター登録をご覧ください。

(3) 個別のPoEポート



PoEボタンをクリックすると、以下の画面が開きます。



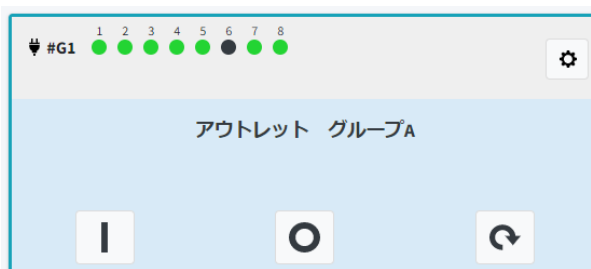
電源オン、電源オフ、リブートのボタンを押すことで、リブーターに設定済みのPoEポートの電源状態の変更(電源オン・オフ・リブート)ができます。

中心部分(PoEポート名称が書かれている部分)をクリックすると、アウトレット詳細が表示されます。詳細につきましては[5]アウトレット詳細をご覧ください。

デフォルトではダッシュボードに表示されません。

「管理メニュー」-「リブーター・アウトレット」-「リブーター管理」のコンセントアイコンをクリックし、「アウトレット管理」の歯車アイコンをクリックした後「使用切り替え」を「許可」にし[保存]をクリックしてください。詳細につきましては 3.[1](2)リブーター登録をご覧ください。

(4) アウトレットのグループ



「管理メニュー」の[グループ]でアウトレットのグループを作成することができます。

詳細につきましては3.[2]グループをご覧ください。

電源オン・オフ、リブートボタンでグループ全体の電源操作を行うことができます。

アウトレットがすべてオンの場合はオフボタンとリブートボタン、すべてオンの場合はオフボタンとリブートボタンが表示されます。

タイトルの中心部分クリックでグループ全体の他、個別アウトレットの操作も可能です。



グループに表示された個別タイルは(1)個別のアウトレットと共通です。
 右上のスケジュールボタンで、グループのスケジュールを作成することができます。
 詳細につきましては 3.1<2>リポーター登録をご覧ください。

(5) 仮想アウトレットのグループ

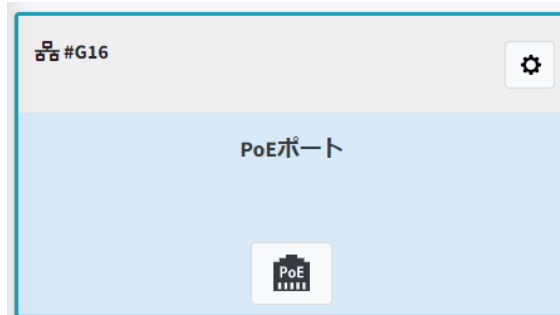


「管理メニュー」の[グループ]で仮想アウトレットのグループを作成することができます。
 詳細につきましては3.[2]グループをご覧ください。
 WoLボタンでグループ全体の電源操作を行うことができます。タイルの中心部分クリックで、個別の仮想アウトレットの操作も可能です。



グループに表示された個別タイトルは(2)個別の仮想アウトレットと共通です。
右上のスケジュールボタンで、グループのスケジュールを作成することができます。
詳細につきましては3.1<2>リブーター登録をご覧ください。

(6) PoEポートのグループ



「管理メニュー」の[グループ]でPoEポートのグループを作成することができます。
詳細につきましては3.[2]グループをご覧ください。

PoEボタンでグループ全体の電源操作を行うことができます。タイトルの中心部分クリックで、個別のPoEポートの操作も可能です。



グループに表示された個別タイトルは(3)の個別のPoEポートと共通です。
右上のスケジュールボタンで、グループのスケジュールを作成することができます。
詳細につきましては3.1<2>スケジュールをご覧ください。

[5] アウトレット詳細

個別のアウトレット、個別の仮想アウトレット、個別のPoEポートのタイトルの中心部をクリックすると、アウトレット詳細の画面が開きます。



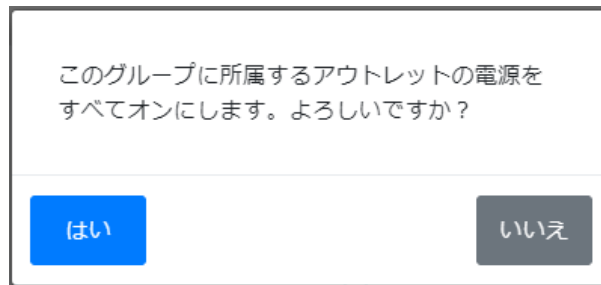
- スケジュール : クリックで設定されているスケジュールが表示されます。
スケジュールについては第 2 章1<2>スケジュールをご覧ください。
- 状態 : 電源状態が文字と色で表示されます。
仮想アウトレット、PoEポートには状態の表示がありません。
電源オン : 緑
電源オフ : 黒
途絶 : 黄
異常 : 赤(異常の場合は、電源状態もあわせて表示されます)
- アウトレットメモ : メモとして文字を入力することができます。
- 登録情報 : リブーターのMACアドレスが表示されます。
- 機種名 : リブーターの機種名が表示されます。
- デバイスNo. : リブーターのデバイスNo.が表示されます。
- アウトレットNo. : アウトレットNo.が表示されます。
- デバイス名称 : 登録されたデバイス名称が表示されます。

- アウトレット名称： 登録されたアウトレット名称が表示されます。
- 操作ボタン： アウトレットオンの場合はオフとリブートボタンが表示されます。
アウトレットオフの場合はオンとリブートボタンが表示されます。
- アウトレットログ： 対象アウトレットのログが表示されます。(監視異常, 途絶発生・解消, 制御内容)

[6] 電源操作

- オン, オフ, リブートの操作ボタンをクリックすると, 確認の画面が表示されます。
- [はい]をクリックすることで電源操作が行われます。
- [いいえ]をクリックすれば電源操作は行われません。

表示例



- この後, 電源状態が個別タイルまたはグループタイルに反映されます。
- 以下のメッセージが表示された場合は, 内容に応じて対策を行ってください。

リブーターからの応答を確認できませんでした	リブーターの通信状態を確認してください。通信状況によっては正しく電源操作されたにもかかわらず表示される場合がありますので, タイルの電源状態表示にて操作結果を確認してください。
リブーターが下記の実行結果を返しました Last command is pending. Command failed	直前のコマンド実行中の為, 電源操作が行われませんでした。 再度電源操作を行ってください。
リブーターが下記の実行結果を返しました Command failed. Select the appropriate mode	リブーター側にて「排他制御方式」設定のままであった為, 電源操作が行われませんでした。 リブーターにて「ガードタイム方式」の設定を行ってください。

[7] ログ履歴

電源管理クラウド365の電源操作履歴, リブーターの監視異常, リブーターとサーバーの通信途絶状態について, ログ履歴で確認することができます。

(1) 表示

一般メニューのログ履歴をクリックします。

日時	ID	名称	メッセージ	状態	ユーザ
2025/07/23 13:08:53			ログイン: 明京太郎	正常	明京太郎
2025/07/23 13:03:13			ログアウト: 明京太郎	正常	明京太郎
2025/07/23 12:51:16	#2-2	アウトレット0002-2	電源状態変化 オン	状態変化	システム
2025/07/23 12:50:15	#2-2	アウトレット0002-2	電源状態変化 オフ	状態変化	システム
2025/07/23 12:50:15	#2-2	アウトレット0002-2	リポート実行	正常	システム
2025/07/23 12:50:12	#2-2	アウトレット0002-2	リポート登録	正常	システム
2025/07/23 12:50:12	#2-2	アウトレット0002-2	スケジュールリポート	正常	システム
2025/07/23 12:01:09	#2-1	アウトレット0002-1	電源状態変化 オン	状態変化	システム
2025/07/23 12:00:04	#2-1	アウトレット0002-1	電源状態変化 オフ	状態変化	システム
2025/07/23 11:57:49	#2	PoE8M2	スケジュール書き込み実行	正常	システム

- 日時 : イベントの発生した日時が表示されます。
日時はサーバーの日時となり, リブーターに表示されるログと若干のずれが生じる場合があります。
- ID : リブーター管理番号とアウトレットの番号が表示されます。
- 名称 : アウトレットの名称が表示されます。
- メッセージ : 発生したイベントが表示されます。
- 状態 : チェックが入っているログのみ表示されます。
正常 正常なログを示します
異常 リブーターの監視異常や, サーバーからのコマンド実行等が失敗したログを示します
途絶 途絶発生, または解消のログを示します
状態変化 アウトレットがオン, またはオフになったログを示します
- ユーザ : 設定, 操作を行ったユーザーが表示されます。
スケジュール等の動作については, 「システム」と表示されます。

ログの履歴は, 日時, アウトレットに付与されているID, アウトレット名称で絞り込み検索することができます。

一度に表示できるログの件数は500件までとなります。

(2) メッセージ一覧

メッセージ一覧表

状態種別	メッセージ	説明
正常	ログイン:[名前]	管理クラウド365にログインした。
正常	ログアウト:[名前]	電源管理クラウド365からログアウトした。
正常	電源オン 登録	サーバーがリブーターにオンコマンドを登録した。 (仮想アウトレット, PoEポートを含む)
正常	電源オフ 登録	サーバーがリブーターにオフコマンドを登録した。 (仮想アウトレット, PoEポートを含む)
正常	リポート 登録	サーバーがリブーターにアウトレットコマンドを登録した。 (PoEポートを含む)
正常	電源オン 実行	リブーターよりオンコマンド受信の応答があった。 (仮想アウトレット, PoEポートを含む)
正常	電源オフ 実行	リブーターよりオフコマンド受信の応答があった。 (仮想アウトレット, PoEポートを含む)
正常	リポート 実行	リブーターよりリポートコマンド受信の応答があった。 (PoEポートを含む)
状態変化	電源状態変化 オン	リブーターの電源状態が変化し, オンとなった。
状態変化	電源状態変化 オフ	リブーターの電源状態が変化し, オフとなった。
異常	電源オン 失敗	リブーターから電源操作コマンド(オン)の登録失敗が通知された。
異常	電源オフ 失敗	リブーターから電源操作コマンド(オフ)の登録失敗が通知された。
異常	リポート 失敗	リブーターから電源操作コマンド(リポート)の登録失敗が通知された。
異常	異常発生 異常発生コード*	リブーターから監視異常発生が通知された。 *部分は以下の通り。 101:Ping監視 102:メール受信サーバー監視 103:Port監視 104:ハートビート監視 105:温度監視
異常	異常解消	リブーターから監視異常解消が通知された。
正常	スケジュール 電源オン	スケジュール機能による電源操作(オン)が実行された。
正常	スケジュール 電源オフ	スケジュール機能による電源操作(オフ)が実行された。
正常	スケジュール リポート	スケジュール機能による電源操作(リポート)が実行された。
途絶	途絶発生	リブーターとサーバーの通信ができない。 (リブーターの主電源が切れている場合も途絶となる。)
途絶	途絶解消	リブーターとサーバーの途絶が解消された。
正常	スケジュール書き込み 実行	リブーターへのスケジュール書き込みが実行された。
正常	CPUリセット 実行	リブーターのCPUリセットが実行された。
正常	Pingリスタート 実行	Ping監視がリスタートされた。
正常	アウトレットスケジュール 有効	スケジュールが無効=>有効に切り替えられた。
正常	アウトレットスケジュール 無効	スケジュールが有効=>無効に切り替えられた。

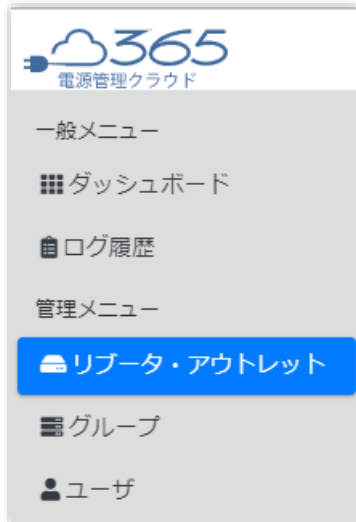
正常	アウトレットスケジュール 書込有効	スケジュール書き込みが無効=>有効に切り替えられた。
正常	アウトレットスケジュール 書込無効	スケジュール書き込みが有効=>無効に切り替えられた。
正常	グループスケジュール 有効	スケジュールが無効=>有効に切り替えられた。
正常	グループスケジュール 無効	スケジュールが有効=>無効に切り替えられた。
正常	グループスケジュール 書込有効	スケジュール書き込みが無効=>有効に切り替えられた。
正常	グループスケジュール 書込無効	スケジュール書き込みが有効=>無効に切り替えられた。
正常	スケジュール書き込み 実行	リポーターへのスケジュールが書き込みされた。
正常	スケジュール書き込み 設定削除 実行	リポーターへのスケジュール書き込み設定が無効となった。
正常	ファームウェアアップデート 要求 登録	ファームウェアアップデート要求が行われた。
正常	ファームウェアアップデート 開始	リポーターからファームウェアバージョンアップ開始された。
正常	リポーター 使用不可	リポーターの使用切り替えが許可=>不可に変更された。
正常	リポーター 使用許可	リポーターの使用切り替えが不可=>許可に変更された。
正常	リポーター 書込有効	リポーター書き込み無効=>有効に変更された時
正常	リポーター 書込無効	リポーター書き込み有効=>無効に変更された時
正常	アクティベート 完了	リポーターがアクティベート完了した。
正常	リポーター 削除	アクティベート済みリポーターが削除された。
正常	アウトレット 有効	アウトレットが無効=>有効に切り替えられた。 (仮想アウトレット, PoEポートを含む)
正常	アウトレット 無効	アウトレットが有効=>無効に切り替えられた。 (仮想アウトレット, PoEポートを含む)
異常	ファームウェアアップデート 失敗	リポーターからファームウェアアップデート要求の失敗が通知された。 *部分は以下の通り。 1 : 更新可能な版数ではない 2 : この種類のバージョンアップが許可されていない 3 : DNSエラー 4 : 明京電機サーバーへのアクセスエラー 5 : バージョンアップ・ファイルが見つからなかった 38: バージョンアップ中に通信途絶が発生した 39: 電源クラウド365によるオンラインバージョンアップ中に通信途絶が発生した
異常	スケジュール書き込み 失敗	リポーターからスケジュール書き込みの失敗が通知された。
異常	スケジュール書き込み 設定削除 失敗	リポーターからスケジュール書き込み設定削除の失敗が通知された。
異常	Ping監視書き込み 失敗	リポーターからPing監視書き込みの失敗が通知された。
異常	Ping監視書き込み 設定削除 失敗	リポーターからPing監視書き込みの設定削除の失敗が通知された。

異常	CPUリセット 失敗	リブーターからCPUリセットの失敗が通知された。
異常	Pingリスタート 失敗	リブーターからPingリスタートの失敗が通知された。
異常	ファームウェアアップデート 失敗	リブーターからファームウェアバージョンアップ失敗が通知された。
異常	アクティベート 失敗	リブーターのアクティベートを失敗した。
正常	API: 電源オン	APIによる電源操作(オン)が実行された。
正常	API: 電源オフ	APIによる電源操作(オフ)が実行された。
正常	API: 電源リブート	APIによる電源操作(リブート)が実行された。

3. 管理メニュー

[1] リブーター・アウトレット

左上の3本線をクリックすると、左側にメニュー画面が開きます。
「管理メニュー」の「リブーター・アウトレット」をクリックすると、リブーター管理画面が開きます。



(1) リブーター管理

アクティベート済みのリブーターがすべて表示されます。
使用切り替えが[不可]となっているリブーターは文字がグレーで表示されます。



リブーター番号 : リブーターの登録順に#1から振られます。(変更不可)

デバイス名称 : 設定画面から名称を変更できます。

機種名 : 機種名が表示されます。(変更不可)

アウトレット管理 : クリックでアウトレット「管理メニュー」が開きます。

設定 : クリックでリブーター登録メニューが開きます。

右上のアクティベートボタンで、リブーターを新規に追加できます。

詳細につきましては、第1章2. [4]リブーターのアクティベートをご覧ください。

右上のファームウェアアップデートボタンで、登録されているリブーターのファームウェアアップデートを行うことができます。

詳細につきましては、本章3. [1](3)ファームウェアアップデートをご覧ください。

〈1〉 アウトレット管理

タイトル右上のコンセントプラグマークをクリックします。



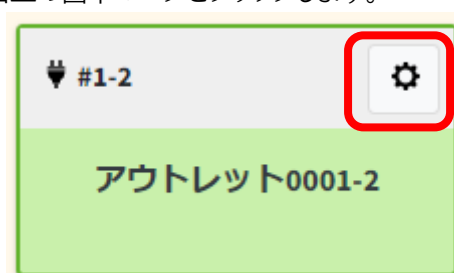
対象のリブーターで設定可能なアウトレット, 仮想アウトレット, PoEポートが一覧で表示されます。



リブーターによってアウトレット数やPoEポートの有無が異なります。
使用切り替えが不可となっているアウトレット類はグレーで表示されます。

1) アウトレット登録

設定したいアウトレットの右上の歯車マークをクリックします。



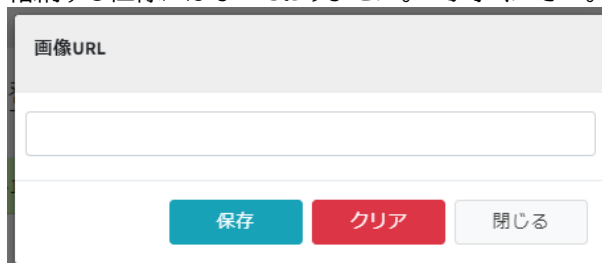
2) アウトレット登録(アウトレット)

- 登録情報 : リブーターのMACアドレスが表示されます(変更不可)
- 機種名 : リブーターの機種名が表示されます(変更不可)
- デバイスNo. : リブーターのデバイスNo.が表示されます(変更不可)
- アウトレットNo. : リブーターのアウトレット番号が表示されます。(変更不可)
リブーター背面に印刷で表示されたアウトレット番号となります。
リブーターのメニューで[システム設定]-[基本設定]-[アウトレット設定]をご確認ください。

アウトレット設定					
No.	アウトレット名称	OFF	REBOOT	ON	START
1	Outlet1	20	10	1	1
2	Outlet2	0	10	2	2

- デバイス名称 : リブーター登録で設定したデバイス名称が表示されます。
(リブーター側の「機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- アウトレット名称 : アウトレット名称を登録することができます。
デフォルト アウトレット[デバイス番号]-[アウトレットNo.]
(リブーター側の「アウトレット名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。
デフォルト 許可
「不可」に切り替えることによりダッシュボードに表示されなくなります。
「不可」に切り替えても、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リブーターでのアウトレット電源制御は行うことができます。

- デバイスメモ : リブーター登録で設定したデバイスメモが表示されます。
- アウトレットメモ : メモを入力することができます。
- 画像1~3 : 画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。
表示したい画像をサーバーなどに格納し、そこへのURLを入力して[保存]をクリックすると画像が表示されます。(本サービスのサーバーに画像を格納する仕様にはなっていません。ご了承ください。)



- スケジュール : アウトレットごとにスケジュールを設定することができます。
詳細につきましては(2)スケジュールをご覧ください。

入力が終わりましたら, [保存]をクリックしてください。



確認画面が表示されますので[はい]をクリックします。

3) アウトレット登録(仮想アウトレット)



- 登録情報 : リブーターのMACアドレスが表示されます(変更不可)
 機種名 : リブーターの機種名が表示されます(変更不可)
 デバイスNo. : リブーターのデバイスNo.が表示されます(変更不可)
 アウトレットNo. : リブーターに設定された仮想アウトレット番号が表示されます。(変更不可)
 リブーターのメニューで[システム設定]-[詳細設定]-[仮想アウトレット設定]をご確認ください。

仮想アウトレット設定 [Wake on LAN]			
No.	仮想アウトレット名称	MAC アドレス	遅延(秒)
1		00:00:00:00:00:00	0
2		00:00:00:00:00:00	0
3		00:00:00:00:00:00	0

- デバイス名称 : リブーター登録で設定したデバイス名称が表示されます。
 (リブーター側の「機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- アウトレット名称 : アウトレット名称を登録することができます。
 デフォルト 仮想アウトレット[デバイス番号]-[アウトレットNo.]
 (リブーター側の「仮想アウトレット名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。
 デフォルト 不可
 「許可」に切り替えることによりダッシュボードに表示されます。
 「不可」のままでも、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リブーターからの仮想アウトレットオンは行うことができます。
- デバイスメモ : リブーター登録で設定したデバイスメモが表示されます。
- アウトレットメモ : メモを入力することができます。
- 画像1~3 : 画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。
 表示したい画像サーバーなどに格納し、そこへのURLを入力して[保存]をクリックすると、画像が表示されます。(本サービスのサーバーに画像を格納する仕様にはなっておりません。ご了承ください。)

画像URL

保存
クリア
閉じる

- スケジュール : アウトレットごとにスケジュールを設定することができます。
 詳細につきましては<2>スケジュールをご覧ください。

入力が終わりましたら、[保存]をクリックしてください。



確認画面が表示されますので[はい]をクリックします。

4) アウトレット登録(PoEポート)

- 登録情報 : リブーターのMACアドレスが表示されます(変更不可)
- 機種名 : リブーターの機種名が表示されます(変更不可)
- デバイスNo. : リブーターのデバイスNo.が表示されます(変更不可)
- アウトレットNo. : リブーターの「PoE 機器設定」のNo.が表示されます。(変更不可)
リブーターのメニューで[システム設定]-「基本設定」-「PoE機器設定」をご確認ください。

PoE機器設定				
No.	PoE機器名称	制御	HUB番号	ポート番号
1	PoeDev1	無効	1	0
2	PoeDev2	無効	1	0

- デバイス名称 : リブーター登録で設定したデバイス名称が表示されます。
(リブーター側の「機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)
- アウトレット名称 : PoE給電ポート名称を登録することができます。
デフォルト PoEポート[デバイス番号]-[アウトレットNo.]

(リブーター側の「PoE機器名称」とは連動しません。本サービスでの登録名称となります。)

- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。
デフォルト 不可
「許可」に切り替えることによりダッシュボードに表示されます。
「不可」のままでも、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リブーターからのPoEポートの給電制御は行うことができます。
- デバイスメモ : リブーター登録で設定したデバイスメモが表示されます。
- アウトレットメモ : メモを入力することができます。
- 画像1~3 : 画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。
表示したい画像をサーバーなどに格納し、そこへのURLを入力して[保存]をクリックすると、画像が表示されます。(本サービスのサーバーに画像を格納する仕様にはなっていません。ご了承ください。)



- スケジュール : アウトレットごとにスケジュールを設定することができます。
詳細につきましては<2>スケジュールをご覧ください。

入力が終わりましたら、[保存]をクリックしてください。



確認画面が表示されますので[はい]をクリックします。

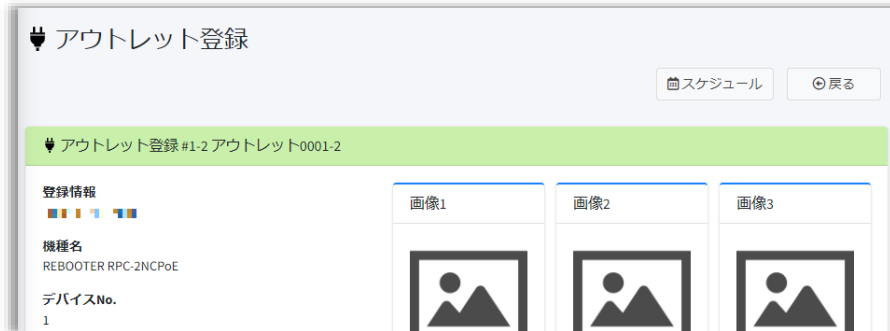
(2) スケジュール

アウトレットごとにスケジュールを登録することができます。

アウトレット登録画面の右上のスケジュールボタンをクリックします。

仮想アウトレット、PoEポートも共通ですが、仮想アウトレットはオンのみ有効です。

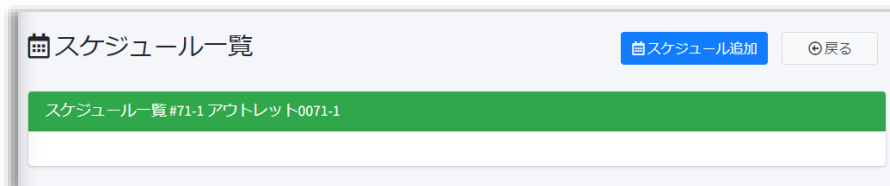
右上のスケジュールをクリックします。



設定されているスケジュールが一覧で表示されます。

無効のスケジュールはグレーで表示されます。

スケジュール追加をクリックします。



スケジュール登録画面が開きます。

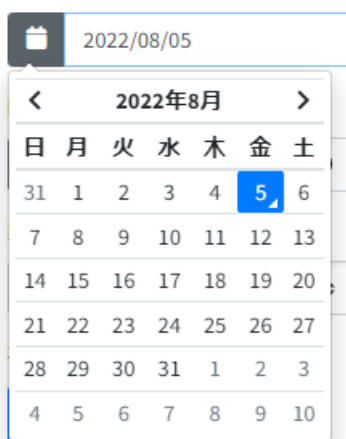


登録情報 : リブーターのMACアドレスが表示されます。
 機種名 : リブーターの機種名が表示されます。
 デバイスNo. : リブーターのデバイスNo.が表示されます。
 アウトレットNo. : リブーターのアウトレット番号が表示されます。
 デバイス名称 : リブーター登録で設定したデバイス名称が表示されます。
 アウトレット名称 : アウトレット登録で設定したアウトレット名称が表示されます。

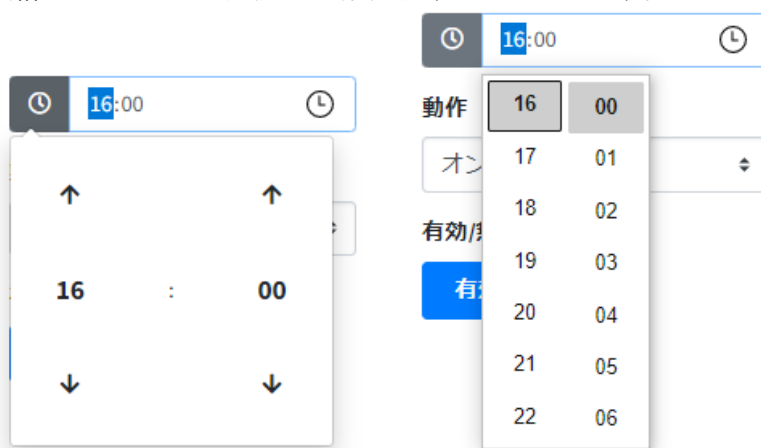
曜日を指定する : ラジオボタンクリックで曜日が表示されます。
 スケジュールを実行したい曜日をクリックしてください。



日付を指定する : ラジオボタンクリックで日付入力欄が表示されます。
 また、カレンダーマーククリックでカレンダーが表示されますので、
 カレンダー選択で日付を入力することができます。



時間を指定 : 時刻を入力します。
 時計マーククリックで選択して時間入力することができます。



動作 : オン・オフ・リブート・メールを選択します。
 デフォルト オン
 仮想アウトレットについてはオンを指定してください。
 メールを選択すると、設定した時刻にリブーターから定時メールが送信されま
 す。アウトレットのリブーターが定時メール対象機種で、かつ「このスケジュール

をリブーターに書き込み」が「する」に設定されている場合のみ「メール」の動作を選択可能です。
また、メールの送信先はリブーターに設定したメールアドレスとなります。
リブーターの「機器設定」-「ネットワーク設定」-「メール設定」にて設定を行ってください。

有効/無効 : 有効・無効を選択します。
デフォルト 有効
無効の場合はスケジュールが実行されません。
日付指定のスケジュールの場合、動作後は無効となります。

このスケジュールをリブーターに書き込み :

「する」…このスケジュールはリブーターのスケジュールに書き込まれます。
このスケジュールはリブーターが実行します。

「しない」…このスケジュールはリブーターのスケジュールには書き込まれません。このスケジュールは電源管理クラウド365が実行します。

本メニューは対象機種にのみ表示されます。

スケジュール書き込みを行う場合は、事前に「リブーター登録」にて「スケジュール設定をリブーターに書き込み」を[有効]に変更しておく必要があります

【スケジュールをリブーターに書き込む動作について】

書き込みを「する」に変更すると、電源管理クラウド365にて設定したスケジュールがリブーター内部のスケジュールリストに上書きされ、リブーターがスケジュールを実行します。

(リブーターに既に登録されていたスケジュールはすべて消去されますのでご注意ください)

ネットワーク障害等でサーバーとの通信ができない場合に備えることができます。

書き込み対応機種 : RPC系リブーターのファームウェアバージョン4.30A以降
書き込み可能なスケジュール : 曜日指定のスケジュール
書き込み可能数 : リブーター1台につき20個
20個を超えるとスケジュールの登録ができなくなります。

入力が終わりましたら、[保存]をクリックします。
以下が表示されますので、[はい]をクリックします。

この内容を保存します。よろしいですか？

はいいいえ

再度スケジュールを編集する場合は[編集]をクリックします。
スケジュールを削除する場合は[削除]をクリックします。「リブーターに書き込み」と記載されているスケジュールについては、リブーターからも削除されます。
右下の[CSVダウンロード]をクリックで、スケジュールをダウンロードすることができます。

スケジュール一覧

スケジュール追加 戻る

スケジュール一覧 #G1 アウトレット グループA

リブーターに書き込み

月 火 水 木 金 土 日

08:00 オン

編集 削除

リブーターに書き込み

月 火 水 木 金 土 日

19:00 オフ

編集 削除

サーバーから実行

月 火 水 木 金 土 日

12:00 リポート

編集 削除

CSVダウンロード

注意 スケジュール設定した個別アウトレットをグループ登録し、そのグループにスケジュールを設定しても、個別アウトレットのスケジュールは独立して動作します。

同時刻に、個別アウトレットのスケジュールとグループのスケジュールが設定されている場合、動作は個別アウトレットのスケジュールが優先されますが、ログには両方のスケジュールが記載されます。

また、電源管理クラウド365のサーバーから実行されるスケジュールとリブーターに書き込まれたスケジュールはそれぞれ独立して動作します。

電源管理クラウド365のスケジュールはサーバーの内部時計をもとに動作し、正確な時刻を保証しているものではありません。アウトレット動作を時刻合わせ等には使用しないでください。また、先の理由からサーバーの時刻とリブーターの時刻は若干のズレが発生している場合もあります。

電源管理クラウド365のスケジュールとリブーターのスケジュールをそれぞれ設定する場合は、十分に間を空けて設定してください。

(3) リブーター登録

リブーター管理画面で、編集を行いたいリブーターの歯車マークをクリックします。



(1) リブーター登録



- 登録情報 : リブーターのMACアドレスが表示されます(変更不可)
- 機種名 : リブーターの機種名が表示されます(変更不可)
- ファームウェアバージョン : [リブーターのファームウェアバージョン].[数字]
末尾の数字はシステムデータバージョンです。
- デバイスNo. : リブーターのデバイスNo.が表示されます(変更不可)
- デバイス名称 : デバイス名称を登録することができます。
デフォルト リブーター[デバイス番号]
- 使用切り替え : 「許可」で電源管理クラウド365からアウトレットの操作が可能になります。
デフォルト 許可
「許可」でダッシュボードに表示されます。
「不可」のままでも、アウトレット登録画面の表示を行うことはできますが、
ダッシュボードには表示されず、電源操作を行うことはできません。

なお、制限されるのは電源管理クラウド365からの操作のみで、リブーターからの電源制御は行うことができます。

スケジュールをリブーターに書き込み：

「有効」・・・電源管理クラウド365がリブーター内部スケジュールを管理します。

リブーター内部スケジュールは、電源管理クラウド365上で登録した指定スケジュールで上書きされます。

「消去」・・・電源管理クラウド365によるリブーター内のスケジュール管理を中止します。

電源管理クラウド365が書き込んだスケジュールをリブーター内から消去します。

「有効」に切り替えると、スケジュール設定画面に切り替えボタンが表示されます。

書き込みする/しないはスケジュール毎に設定を行うことができます。

デフォルトしない

スケジュールの書き込みについては、3.1<2>スケジュールをご覧ください。

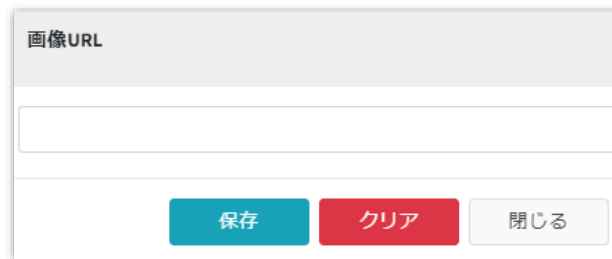
デバイスメモ

：メモを入力することができます。

画像1～3

：画像URLをクリックするとURL登録画面が開きます。

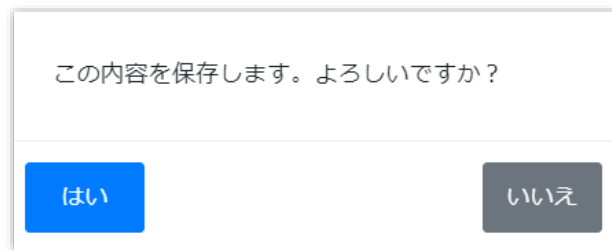
表示したい画像をサーバーなどに格納し、そこへのURLを入力して[保存]をクリックすると画像が表示されます。(本サービスのサーバーに画像を格納する仕様にはなっていません。ご了承ください。)



保存

：入力が終わりましたら、[保存]をクリックしてください。

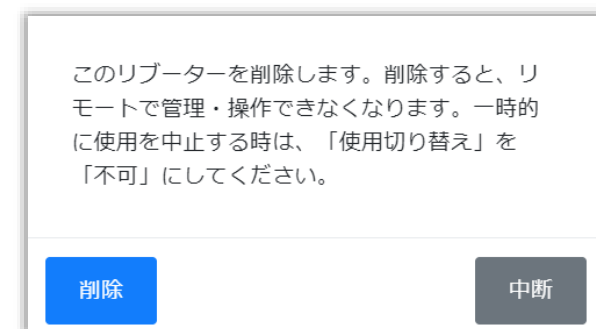
確認画面が表示されますので[はい]をクリックします。



削除

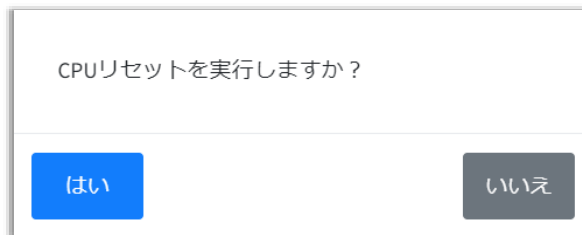
：[削除]クリックで、以下のポップアップが表示されます。

[削除]クリックでリブーターを削除します。



戻る : [戻る]クリックで前の画面に戻ります。

CPUリセット : [CPUリセット]クリックで、以下のメッセージが表示されます。



CPUリセットを実行しますか？

はい いいえ

このダイアログボックスには、タイトル「CPUリセットを実行しますか？」と、二つのボタン「はい」と「いいえ」があります。

[はい]をクリックするとリブーターのCPUリセットを行います。



CPUリセットが完了しました。

閉じる

このダイアログボックスには、タイトル「CPUリセットが完了しました。」と、一つのボタン「閉じる」があります。

CPUリセットが完了すると完了メッセージが表示されます。
機種によっては、リブーター内部に保存されたイベントログが削除されますので、ログが必要な場合は事前にダウンロードを行ってください。

Pingリスタート : [Pingリスタート]クリックで、リブーターのPing監視結果(Ping監視動作実行回数やPing監視状態, Ping応答時間)をリセットし、再スタートします。

戻る : [戻る]クリックで、前の画面に戻ります。

〈2〉 リポーター削除

一度登録したリポーターの削除を行うことができます。

リポーターの初期化では登録が解除されることはありません。

削除を行うと、電源管理クラウド365での管理・操作を行うことができなくなります。登録内容もすべて削除されますので、メンテナンス等で一時的に使用を中止したい場合は「使用切り替え」を「不可」にしてください。

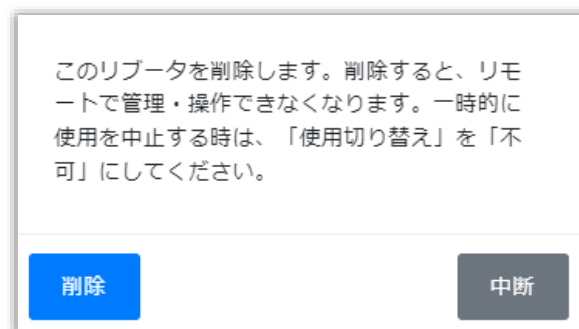
リポーター管理画面で、削除を行いたいリポーターの歯車マークをクリックします。



[削除]をクリックします。



確認メッセージが表示されますので、[削除]をクリックします。



スケジュールをリポーターに書き込む設定がされている場合は、以下のメッセージが表示されます。削除前にスケジュールの書き込みを「無効」に変更してください。

このリポーターへ書き込み設定されているスケジュールがあります。リポーターを削除する前に「スケジュール設定をリポーターに書き込み」を「無効」に変更してください。

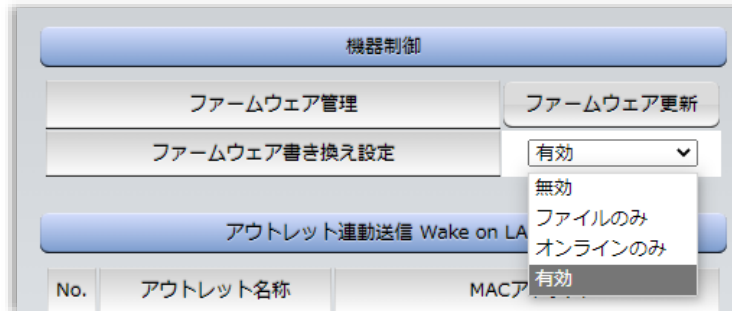
閉じる

注意 1つのリポーターは、電源管理クラウド365の1つの契約内でのみ登録できます。

(4) ファームウェアアップデート

リブーター管理画面から、ファームウェアのアップデートを行うことができます。

電源管理クラウド365からのファームウェアアップデートを行う場合は、事前に、リブーターの設定で [システム設定]-[詳細設定]-「機器制御」の「ファームウェア書き換え設定」を [有効] または [オンラインのみ] に設定してください。(リブーターのデフォルト値は [有効] です。)



(1) リブーターファームウェア管理

リブーター管理画面で [ファームウェアアップデート] をクリックします。



「リブーターファームウェア管理」の画面が開きます。

アクティベートされたリブーターが一覧で表示されます。

アップデート可能なリブーターは赤背景で表示されます。

ファームウェアアップデート未対応のリブーターはステータスに「未対応リブーター」と表示されます。



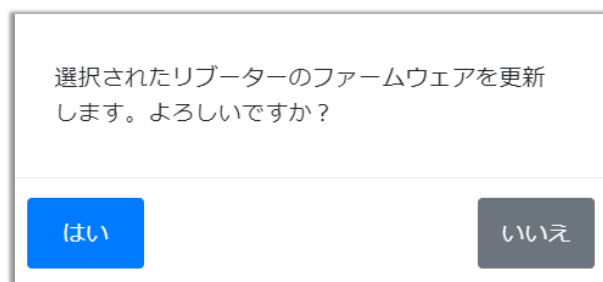
注意 未対応のリブーター(ファームウェアバージョンが4.10Aより前のものは電源管理クラウド365からのアップデートはできません。
リブーターのWEB画面からローカルアップデートを行う必要があります。
弊社ホームページから4.10A以降のファームウェアをダウンロードしてアップデートを行ってください。
<https://www.meikyo.co.jp/archive/>
リブーターのSSHサーバー設定を有効にしている場合は、リブーターと他の機器がSSH接続していない状態でバージョンアップするようにしてください。

アップデートを行うリブーターの行をクリックして、アクティベートするリブーターを選択します。
[未アップデートを全選択]をクリックでアップデート可能なリブーターをすべて選択することができます。



デバイス名称	機器	現在のファームウェア	最新のファームウェア	ステータス
リブーター-0001	REBOOTER RPC-2NCPoE	4.20B.231117	4.30A.241206	
リブーター-0002	REBOOTER RPC-2NC	4.20D.240530	4.30A.241209	

[アップデート実行]をクリックで確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。



選択されたリブーターのファームウェアを更新します。よろしいですか？

はい いいえ

ファームウェアのアップデートが実行されます。実行中のリブーターは背景が灰色となり、ステータスが「リブーター待機中」または「アップデート中」となります。背景が灰色の間は、リブーターの操作を行うことはできません。



リブーターのアップデートが完了すると、ステータスに「アップデート完了」と表示されます。



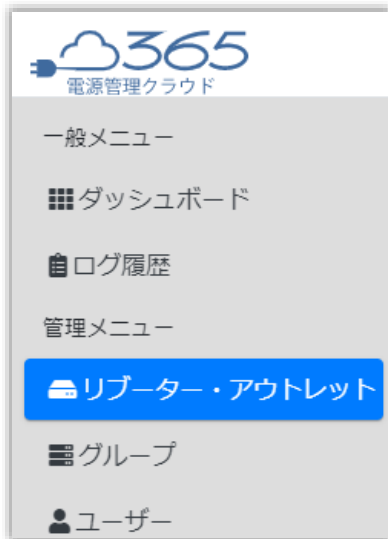
ステータスに「アップデート失敗」と表示された場合は、通信状況や設定を確認の上、再度アップデートを実行してください。

リブーターのファームウェアアップデート設定につきましては、第1章2.[3]リブーターのファームウェアアップデート設定をご覧ください。

注意 正常にファームウェアアップデートが完了すると、自動でリブーターのCPUリセットが行われます。RPCシリーズのリブーターはCPUリセットに伴いイベントログが消去されます。RSCシリーズはイベントログが保持されます。

(5) アクティベート

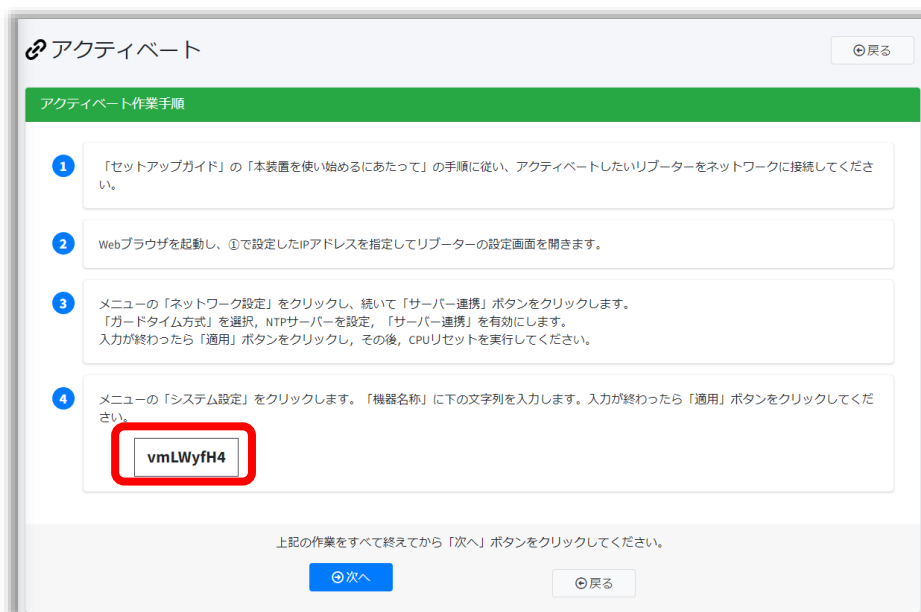
電源管理クラウド365にログインし、サイドバーの[リブーター・アウトレット]をクリックします。



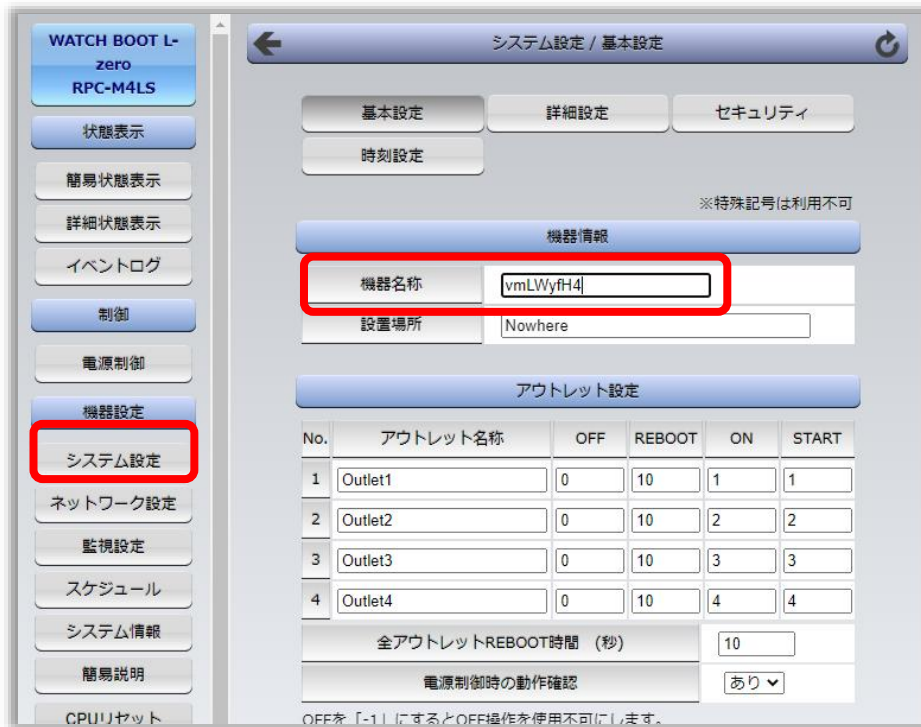
右上の「アクティベート」を選択します。



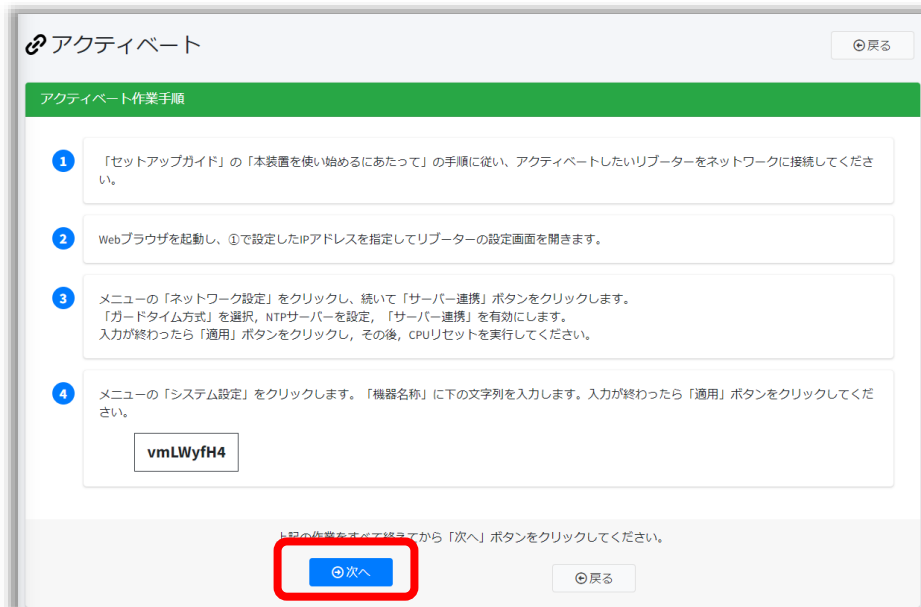
表示された画面にて、④に表示されている半角英数8文字をコピーします。



開いていたリブーターのWEB画面に戻り, [システム設定]をクリックして「基本設定」を開きます。
「機器名称」にコピーした文字列をペーストして入力し, [適用]をクリックします。



電源管理クラウド365に戻り, [次へ]をクリックします。





何秒かで「アクティベート完了」画面に変わります。



[次へ]をクリックすると、登録したリポーターの設定画面となります。

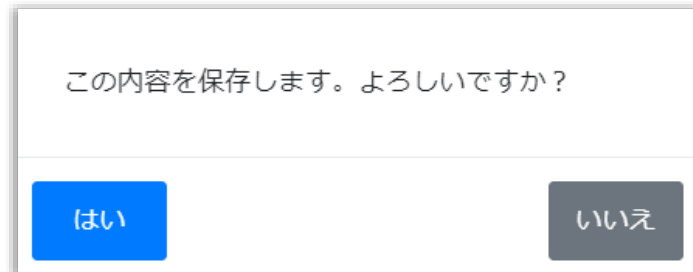


この画面では、リブーターの名称変更、使用切り替え、CPUリセット、Pingリスタート、画像リンクの追加、メモを入力することができます。

使用切り替えはデフォルトで「許可」となっています。

詳細につきましては第2章3.[1](2)リブーター登録をご覧ください。

編集後、「保存」をクリックすると確認画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。



「保存しました」のメッセージが表示されます。メッセージを閉じたのちに「戻る」をクリックしてください。リブーター管理画面が開きますので、続けて契約台数分のリブーターのアクティベートを行うことができます。



アクティベートが完了後、リブーターの「機器名称」を変更できます。(アクティベート時に指定された機器名称は、その後は使用しません。)

「アクティベート失敗」と表示された場合は通信状況とリブーターの設定を確認して、再度アクティベートを行ってください。

[2] グループ

「管理メニュー」の[グループ]をクリックします。



(1) グループ作成

画面右上の, [グループ追加]をクリックします。



グループ名称を入力します。

A screenshot of the 'グループ登録' (Group Registration) form. The form has a title 'グループ登録' and two buttons: 'スケジュール' and '戻る'. Below the title is a section for 'グループ' with a blue header. Underneath, there are two labels: 'グループNo.' and 'グループ名称'. The 'グループ名称' label is followed by a text input field containing the placeholder text 'グループ名称を入力'.

[アウトレット選択・選択解除]をクリックします。

A screenshot of the 'このグループに所属するアウトレット' (Outlets belonging to this group) section. The section title is 'このグループに所属するアウトレット'. Below the title is a table with one row containing a dropdown arrow and the text 'アウトレット選択・選択解除'. This button is highlighted with a red rectangle. At the bottom of the section is a blue '保存' (Save) button.

アクティベートされているリポーターのアウトレット類すべてが表示されます。
追加したいアウトレットをクリックしてください。



ひとつクリックして選択すると、違う種類のアウトレットは非表示になります。次の図では、アウトレットをクリックしたため、仮想アウトレットとPoEポートが非表示となっています。



同じグループにしたいアウトレットを選択して、右上の[適用を選択]をクリックします。異なるリポーターも同じグループにすることができます。



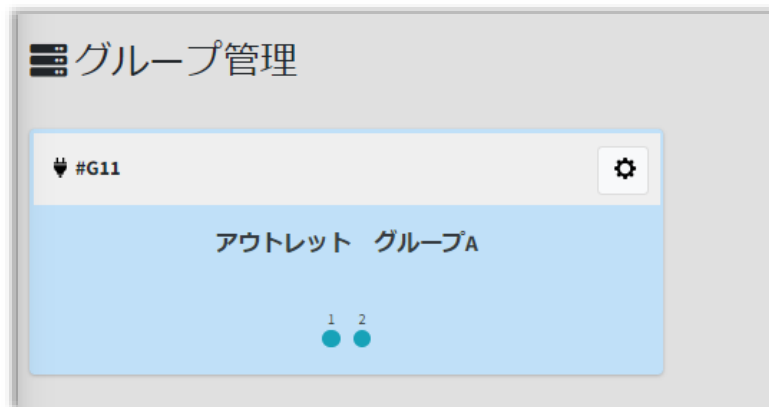
[保存]をクリックします。



確認画面が表示されますので[はい]をクリックします。



グループ管理画面にグループが追加されました。



アウトレットのグループには、含まれているアウトレットの個数だけ数字とマークが表示されますが、このマークは電源状態を反映しません。

ダッシュボードにも同じようにグループが追加されます。

注意 ひとつのグループに対するアウトレット数の上限は24です。
異種の制御対象を同じグループにすることはできません。
(アウトレットと仮想アウトレット、アウトレットとPoEポートなど)
ひとつのアウトレットを複数のグループに登録することはできません。
(他のグループに登録済みのアウトレット類は選択時に画面表示されません。)
グループに使用切り替え「不可」のリブーターが含まれている場合、手動でグループ全体の電源操作を行うことはできません。電源類のボタンクリックで「使用不可設定のリブーターがあります」と表示されます。
なお、グループに含まれている個別アウトレットの手動操作は可能です。
また、グループへ設定されたスケジュールは使用許可されたリブーターのみ実行されます。

(2) グループ管理

「管理メニュー」の[グループ]をクリックします。

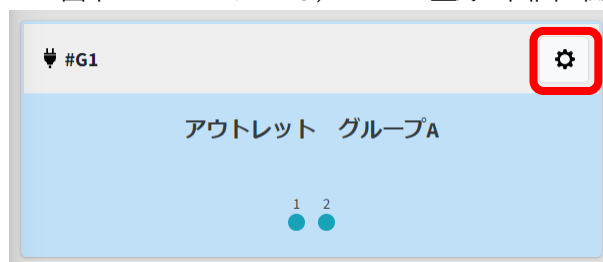


作成したグループが一覧で表示されます。



〈1〉 グループ登録

編集を行うグループの歯車マークをクリックし、グループ登録の画面を開きます。



グループNo. : グループの No.が表示されます。
 グループ名称 : グループ名称を変更することができます。

[アウトレット選択・選択解除]をクリックで、アウトレット追加・削除メニューが開きます。チェックの入った水色のタイルが選択中、グレーのタイルは選択可能なタイルです。ひとつのグループに違う種類のアウトレットを含めることはできません。(アウトレットと仮想アウトレット、アウトレットとPoEポート等)選択不可のアウトレットは非表示になります。次の図では、アウトレットをクリックしたため、仮想アウトレットとPoEポートが非表示となっています。

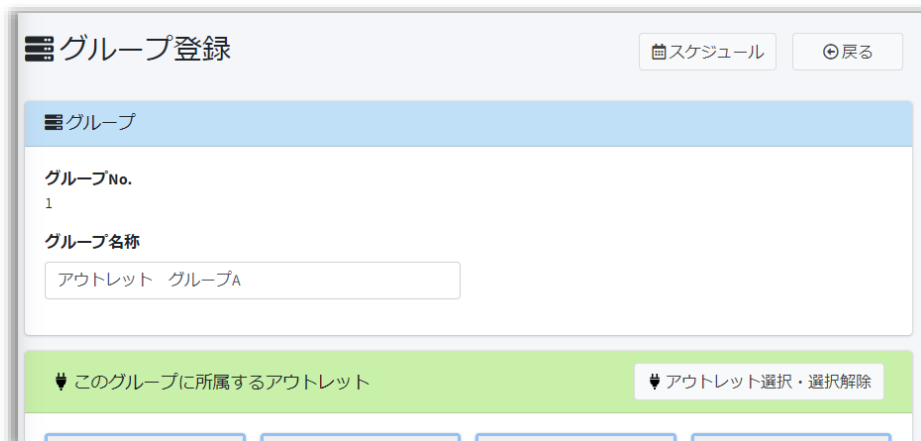
編集が終わりましたら、[選択を適用]をクリックします。

〈2〉 スケジュール

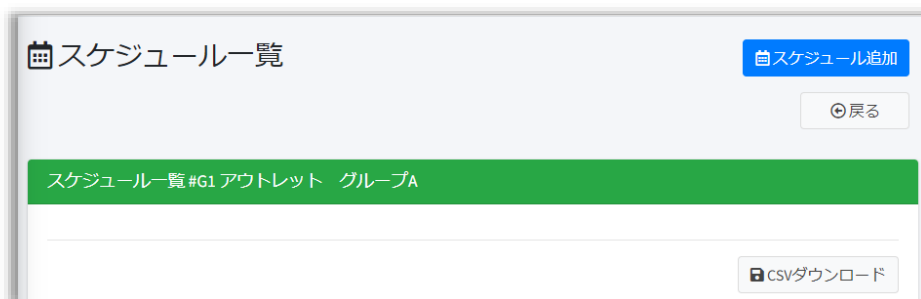
グループごとにスケジュールを登録することができます。

グループ登録画面の右上のスケジュールボタンをクリックします。

仮想アウトレット, PoEポートも共通ですが, 仮想アウトレットはオンのみ有効です。



スケジュール追加をクリックします。

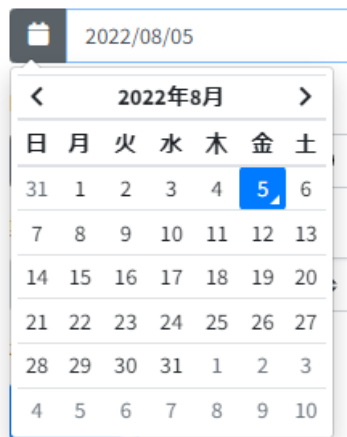


- グループNo. : グループの No.が表示されます。
 グループ名称 : グループ登録で登録したグループ名称が表示されます。

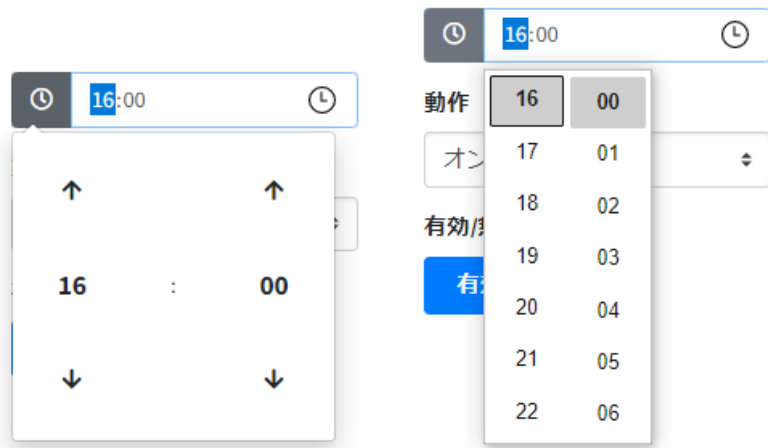
- 曜日を指定する : ラジオボタンクリックで曜日が表示されます。
 スケジュールを実行したい曜日をクリックしてください。



- 日付を指定する : ラジオボタンクリックで日付入力欄が表示されます。
 また、カレンダーマーククリックでカレンダーが表示されますので、
 カレンダー選択で日付を入力することができます。



- 時間を指定 : 時刻を入力します。
 時計マーククリックで選択して時間入力することができます。



- 動作 : オン・オフ・リブート・メールを選択します。
 デフォルト オン
 仮想アウトレットについてはオンを指定してください。
 メールを選択すると、設定した時刻にリブーターから定時メールが送信されます。
 アウトレットのリブーターが定時メール対象機種で、かつ「このスケジュールをリブーターに書き込み」が「する」に設定されている場合のみ「メール」の動作を選択可能です。
 また、メールの送信先はリブーターに設定したメールアドレスとなります。
 リブーターの「機器設定」-[ネットワーク設定]-[メール設定]にて設定を行ってください。

- 有効/無効 : 有効・無効を選択します。
 デフォルト 有効

無効の場合はスケジュールが実行されません。

日付指定のスケジュールの場合、動作後は無効となります。

このスケジュールをリブーターに書き込み：

「する」…このスケジュールはリブーターのスケジュールに書き込まれます。

このスケジュールはリブーターが実行します。

「しない」…このスケジュールはリブーターのスケジュールには書き込まれま

せん。このスケジュールは電源管理クラウド365が実行します。

本メニューは対象機種にのみ表示されます。

スケジュール書き込みを行う場合は、事前に「リブーター登録」にて「スケジュール設定をリブーターに書き込み」を[有効]に変更しておく必要があります

【スケジュールをリブーターに書き込む動作について】

書き込みを「する」に変更すると、電源管理クラウド365にて設定したスケジュールがリブーター内部のスケジュールリストに上書きされ、リブーターがスケジュールを実行します。

(リブーターに既に登録されていたスケジュールはすべて消去されますのでご注意ください)

ネットワーク障害等でサーバーとの通信ができない場合に備えることができます。

書き込み対応機種：RPC系リブーターのファームウェアバージョン4.30A以降

書き込み可能なスケジュール：曜日指定のスケジュール

書き込み可能数：リブーター1台につき20個

20個を超えるとスケジュールの登録ができなくなります。

入力が終わりましたら、[保存]をクリックします。

以下が表示されますので、[はい]をクリックします。

この内容を保存します。よろしいですか？

はいいいえ

追加したスケジュールは一覧で表示されます。
無効のスケジュールはグレーで表示されます。
右下の[CSVダウンロード]をクリックで、スケジュールをダウンロードすることができます。



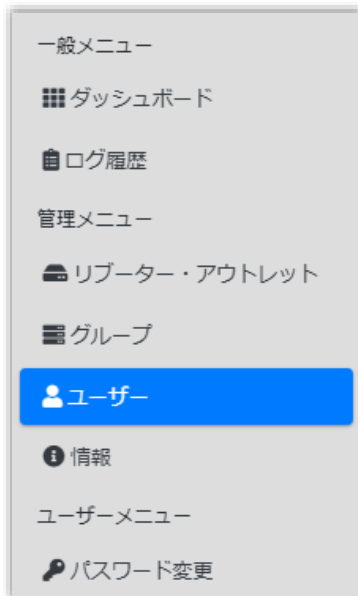
注意 スケジュールの設定を行ったグループに、個別にスケジュール設定した個別アウトレットが含まれている場合、グループのスケジュールと個別アウトレットのスケジュールはそれぞれ独立して動作します。

同時刻に、個別アウトレットのスケジュールとグループのスケジュールが設定されている場合、動作は個別アウトレットのスケジュールが優先されますが、ログには両方のスケジュールが記載されます。

電源管理クラウド365のスケジュールはサーバーの内部時計をもとに動作し、正確な時刻を保証しているものではありません。アウトレット動作を時刻合わせ等には使用しないでください。また、先の理由からサーバーの時刻とリポーターの時刻は若干のズレが発生している場合もあります。電源管理クラウド365のスケジュールとリポーターのスケジュールをそれぞれ設定する場合は、十分に間をあけて設定してください。

[3] ユーザー

「管理メニュー」の[ユーザー]をクリックします。



ユーザーの一覧が表示されます。





ユーザーの追加, 編集, 削除はこの画面から行うことができます。

(1) ユーザー管理

〈1〉 ユーザー追加

右上の[ユーザー追加]をクリックします。



- 名前 : 名前を入力します。
- 権限 : 一般 ・ 管理者 から選択します。(デフォルト 一般)
代表管理者は1名のみです。代表管理者追加はできません。代表管理者変更をご希望される場合は、弊社までご連絡ください。
- メールアドレス : メールアドレスを入力します。
- パスワード : パスワードを半角英数字8桁以上で入力します。
-  クリックでパスワードの表示・非表示を切り替えます。
-  クリックでパスワードを自動生成します。
- 途絶メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- 異常メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
- ログイン通知メール : 通知 ・ 非通知 を切り替えます。(デフォルト 通知)
メール通知につきましては第3章[1]メールによる通知をご覧ください。
- 二段階認証 : ユーザーが自身で二段階認証の設定を行うと「解除」のボタンが表示されます。(デフォルト 未設定)

入力が完了しましたら[保存]をクリックします。

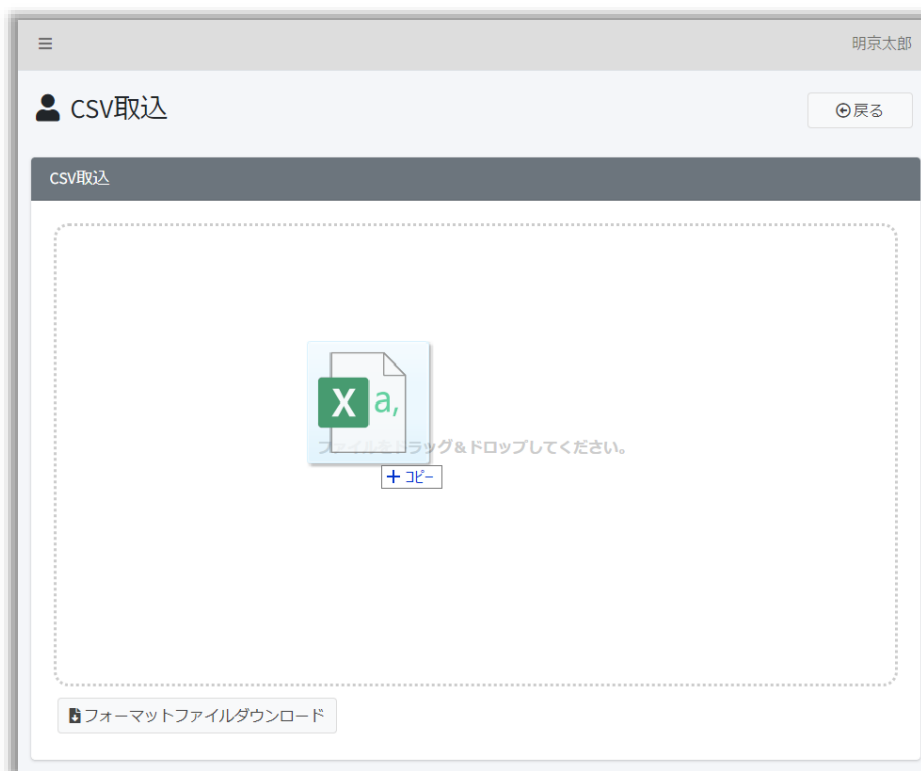
〈2〉 CSV取込

CSV取込をクリックします。

左下の[フォーマットファイルダウンロード]をクリックします。



ダウンロードしたファイルに、名前、権限、メールアドレス、パスワードを入力し、CSV形式で保存します。保存したファイルをCSV取込の点線エリア内にドラッグ&ドロップしてください。



取込が完了しましたら、ユーザー管理画面が開きます。
正しく登録されているか確認してください。

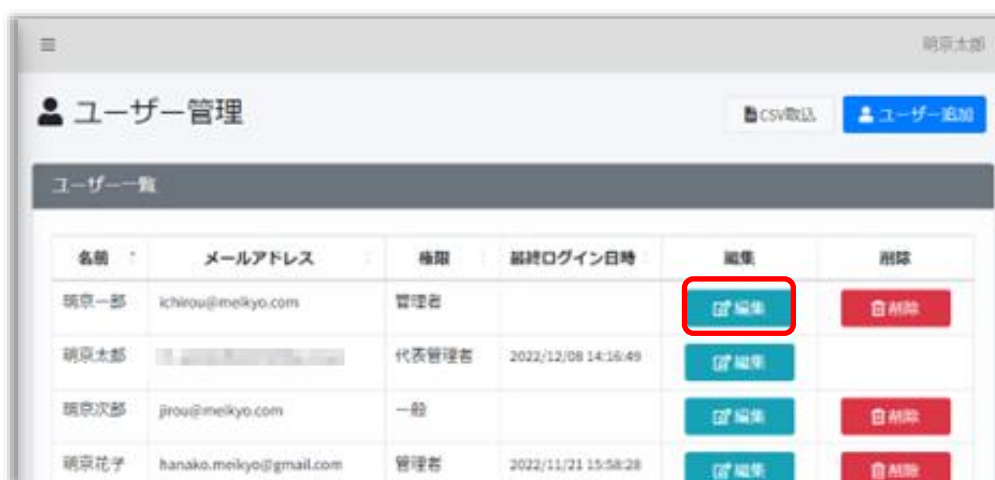


CSVファイルにおいて次に示すようなデータがありますと、取込は行われず、エラーメッセージが表示されます。修正してから再度取り込んでください。

- ・契約ユーザー数を超えるユーザーの取り込み
- ・未入力のデータがある
- ・登録済みの名前やメールアドレスが含まれている
- ・使用できない文字が含まれている
- ・権限の列に「管理者」「一般」以外の文字を入力している
- ・データ範囲外のセルにデータが入力されている

〈3〉 ユーザー情報変更

ユーザー管理画面で、編集するユーザーの[編集]ボタンをクリックします。



ユーザー登録画面が開きますので、変更後に[保存]をクリックします。

パスワードの変更を行わない場合は、必ずパスワードの欄は空欄にて保存してください。
 ユーザーが次項[1]のパスワード変更を行った場合、変更したパスワードはこちらの画面には
 反映されません。削除せずに保存すると、初期に設定したパスワードに変更されたり、意図しない
 パスワードに変更されたりする場合があります。

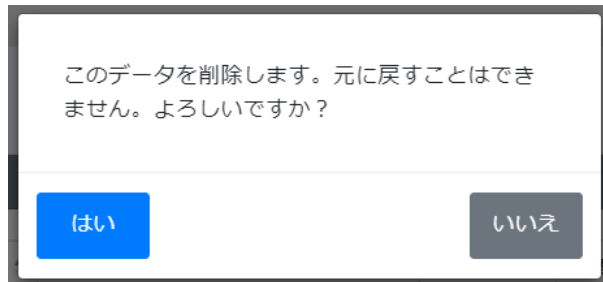
確認画面が表示されますので[はい]をクリックします。

〈4〉 ユーザー削除

ユーザー管理画面で、削除するユーザーの[削除]ボタンをクリックします。

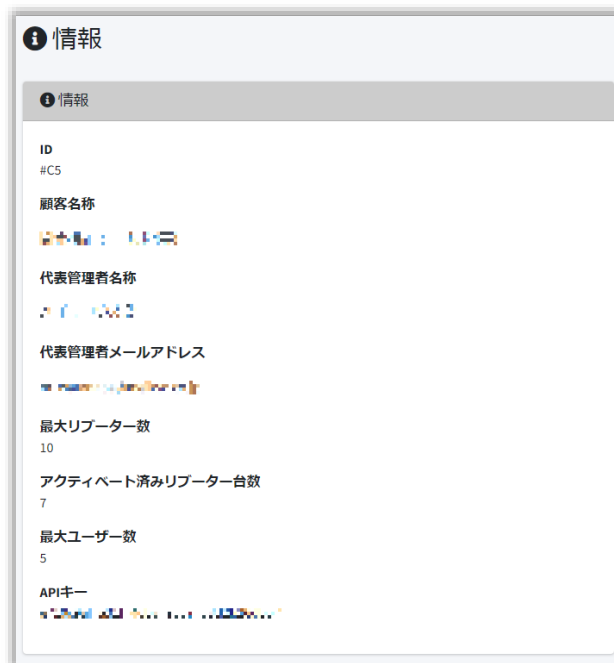
名前	メールアドレス	権限	最終ログイン日時	編集	削除
明京一郎	ichirou@meikyo.com	管理者			
明京太郎	...	代表管理者	2022/12/08 14:16:49		
明京次郎	jiro@meikyo.com	一般			
明京花子	hanako.meikyo@gmail.com	管理者	2022/11/21 15:58:28		

確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



[4] 情報

ダッシュボードの情報を確認することができます。弊社にお問い合わせの際はこちらの内容をお知らせください。

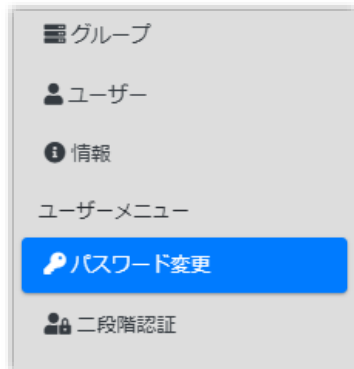


- | | |
|------------------|---|
| ID | : 弊社管理番号となります。ダッシュボードごとに異なります。 |
| 顧客名称 | : 弊社に登録されている名称となります。 |
| 代表管理者名称 | : 代表管理者のお名前が表示されます。 |
| 代表管理者メールアドレス | : 代表管理者のメールアドレスが表示されます。 |
| 最大リポーター数 | : ダッシュボードにアクティベート可能な最大のリポーター数です。 |
| アクティベート済みリポーター台数 | : ダッシュボードにアクティベート済みのリポーター数です。 |
| 最大ユーザー数 | :ダッシュボードに追加できるユーザー数です。
5となっている場合は、代表管理者の他に4人のユーザーを追加できます。管理者、一般は問いません。 |
| APIキー | :API機能をご利用の際のキーとなります。
こちらは絶対に他人に知らせないでください。 |

4. ユーザーメニュー

[1] パスワード変更

ユーザーの種類にかかわらず、自分のパスワードを変更することができます。
ユーザーメニューの[パスワード変更]をクリックします。



パスワード変更画面が開きます。

The 'パスワード変更' (Change Password) form. It has a title 'パスワード変更' with a key icon. Below the title are two input fields: '現在のパスワード' (Current Password) with a placeholder '現在のパスワードを入力' (Enter current password), and '新しいパスワード' (New Password) with a placeholder '半角英数字8桁以上' (8+ alphanumeric characters). To the right of the new password field are two icons: an eye (toggle visibility) and a key (generate password). A blue '保存' (Save) button is at the bottom right.

現在のパスワード : 現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード : 新しいパスワードを入力します。
使用できる文字は、半角英数字と . / , : + - _ ! ? % * = @ です。



クリックでパスワードの表示・非表示を切り替えます。



クリックでパスワードを自動生成します。

入力を行ったら、[保存]をクリックします。

確認画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



注意 代表管理者や管理者権限を持つユーザーでも、他のユーザーが変更したパスワードを確認することはできません。(新しいパスワードの設定は可能です)

ユーザーメニューにてパスワード変更を行ったのちにパスワードを紛失した場合は、ログイン画面の[パスワードを忘れた]からパスワードのリセットを行ってください。(第2章1. [3]パスワードを忘れた場合 をご覧ください)

[2] 二段階認証

(1) 概要

ログイン時のセキュリティ向上のため、「Google Authenticator」アプリ(以下、「Google認証アプリ」)を使用した二段階認証プロセスを設定することができます。

二段階認証を有効にすると、電源管理クラウド365にログインする都度、ID、パスワードを入力した後に、Google認証アプリに表示された認証用の確認コードを入力する必要があります。



The screenshot shows the login page for '電源管理クラウド 365'. At the top is the logo with a cloud and a plug icon. Below the logo is a white box titled '二段階認証' (Two-step authentication). Inside this box, there is a prompt: '確認コードを入力してください。' (Please enter the confirmation code). Below the prompt is a text input field labeled '確認コード'. At the bottom of the box are two buttons: a blue '確認' (Confirm) button and a grey 'リカバリーコード' (Recovery code) button.

注意 二段階認証を行うためには、Google認証アプリがインストールされた、スマートフォン等のデバイスが必要となります。

デバイスの不具合等に備えて、後述するリカバリーコードを必ず控えてください。認証システムが使用できず、かつリカバリーコードが不明な場合、他の代表管理者、管理者に解除を依頼してください。

ただし、代表管理者の二段階認証の解除のみ他の管理者は行うことができませんので、弊社にご連絡ください。

[3] 設定方法

ユーザーメニューの[二段階認証]をクリックします。



[二段階認証を始める]をクリックします。



画面の表示に従って、スマートフォン等のデバイスに認証システムのインストールを行ってください。



インストールを行いましたら、デバイスの認証システムを開きます。
二次元コードをスキャンし、表示された確認コードを入力し、[確認]をクリックしてください。

インストールしたら、アプリで下の二次元バーコードをスキャンしてください。



最後に、アプリに表示された確認コードを入力し、確認ボタンを押してください。

確認

二段階認証が既に有効になっている場合は、以下のメッセージと、再追加用の二次元コード、[リカバリーコードを表示する]ボタンが表示されます。



[4] リカバリーコード

リカバリーコードは、認証アプリや、インストールしたスマートフォン等のデバイスが使用できなくなった際など、緊急の際にログインするためのコードです。二段階認証の設定を行いましたら、必ず[リカバリーコードを表示する]をクリックし、表示されたリカバリーコードについて、すべて控えを取ってください。なお、1つのリカバリーコードにつき1度だけコードを使用できます。同じコードは2回以上使用できませんのでご注意ください。

[5] 二段階認証の中止

二段階認証を中止する場合は、[二段階認証を中止する]をクリックしてください。次回ログイン時より、二段階認証の画面が表示されなくなります。

注意 改めて二段階認証を有効にする場合、以前に認証システムのアプリケーションに登録した電源管理クラウド365のアカウント情報をそのまま使用することはできません。再度、認証システムで二次元コードを読み込む必要があります。

[6] ログアウト

ログアウトをする際は、ユーザーメニューの[ログアウト]をクリックしてください。



電源管理クラウド365のログイン画面が表示されます。



注意 使用後は必ずログアウトしてください。

本サービスでは一般ユーザーの場合、ログインから30分後に自動的にログアウトします。(代表管理者・管理者ユーザーは自動ログアウトしません。) またどのユーザー権限でも、同一IDで複数端末を使用してログインした場合、最後にログインした端末が有効となり、それ以前にログインしていた端末は自動的にログアウトとなります。

第3章

通知仕様

[1] メールによる通知

(1) 通知メールの種類

電源管理クラウド365には、HTML形式のメールによる通知機能があります。(デフォルト 通知)

- 途絶メール : リブーターが途絶した場合, 解消した場合にメール送信されます。
- 異常メール : リブーターに異常が発生した場合, 解消した場合にメール送信されます。
- ログイン通知メール: 自身のアカウントにログインがあった場合に送信されます。

ユーザー権限によるメール内容の違いはありません。

通知・非通知の切り替えは, 代表管理者, 管理者のみ行うことができます。

(2) 通知メール数の上限

〈1〉 日次上限

途絶メールのみ, 1日の送信数に制限があります。

- 途絶メール : 20通/日
- 異常メール : 上限なし
- ログインメール : 上限なし

制限数に達すると, 「本日分途絶メール送信数上限超過のお知らせ」のメールが送信されます。
翌日になると途絶・途絶解消通知メール数のカウントはリセットされます。

〈2〉 月次上限

通知メールは, 途絶メール, 異常メール, ログインメールを合算して200通/月まで送信されます。
月間合計が200通に達した場合, 当該月内は以降のメール送信をご利用いただけません。

お問い合わせ先

明京電機株式会社

〒114-0012 東京都北区田端新町1-1-14

東京フェライトビル4F

TEL 03-3810-5580 FAX 03-3810-5546

ホームページアドレス

<https://www.meikyo.co.jp/>

ご注意

- (1)本書およびサービスの内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2)本書およびサービスの内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書およびサービスの内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4)本サービスを運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本サービスおよび弊社リポーターがお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)弊社リポーターに関して指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

電源管理クラウド365 代表管理者, 管理者ユーザー編

取扱説明書 2025年 10月 第2.0d2版

著作権所有 明京電機株式会社